（原價販賣）
臺灣日日新報
本日十二頁
發行兼編輯人 前野[illegible]
臺北市[illegible]町 臺灣日日新報社
廣告料 [illegible]

●有限責任[illegible]組合登記公告
[illegible]

大阪商船 臺灣出帆
●基隆出帆（公司略）
門司神戸行（高千穗丸 瑞穗丸 高千穗丸）[illegible]
福州上海行 盛京丸 長沙丸 [illegible]
廈門・汕頭行 [illegible]東丸 鳳山丸 [illegible]
福州廈門行 大球丸 [illegible]
大連天津行 大華丸 中華丸 [illegible]
鹿兒島、長崎、博多、北部行 [illegible]運丸 河南丸 [illegible]
沖繩行 開城丸 湖南丸 [illegible]
蘇澳、花蓮港行 めなと丸 [illegible]
新港、古賀行 ていり丸 [illegible]
高雄・廈門、比律賓行 えかご丸 [illegible]
西貢盤谷行 ばたびや丸 [illegible]
タワオ爪哇行 ばなま丸（南洋海運）[illegible]
●高雄出帆
馬公行 豆岐丸（毎奇數日前十時發）
廈門、汕頭、香港行（福建丸）[illegible]
東京直行 [illegible]丸 [illegible]
其他船便多數あり 臺北電二八五〇

近海郵船 基隆出帆
門司神戸行
朝日丸 一月六日後四時半發
吉野丸 一月十一日後四時半發
大和丸 一月十五日後四時半發
大連仁川行
岐阜丸 一月十二日午後發

辰馬汽船 出帆
桃葉丸 仁川行 一月上旬

大連汽船 基隆出帆
大連直行
山東丸 一月六日後五時發
山西丸 一月十七日後五時發
代理店 丸一組 基隆電話八四九 臺北電話八八番

母様
オチ、ハイヤダ
グリコヲ
チャウダイ―

ひぜん病
全治水
[illegible]

○たむし ○水むし ○いんきんたむし ○ぜにたむし ○しらくも
[illegible]

●大發見せり
胃腸病はデルビーでなほる

新發見のデルビーは如何に頑固の慢性胃腸加答兒や赤痢病其他胃腸の弱き人、大便に血液や粘汁の様な物を混じ下腹しぶり、しくしくと痛み一日に四五回多くは數十回の下痢に苦しむ人、胃の痛む人に至極適當な理想的藥であり、諸君希くば世上有り觸れたる誇大なる廣告其他の方法にて賣れる從來慣用の藥類と同一視する事なく論より證據、品質本位であり飛ぶが如く賣れるデルビーを服用して永年の病苦をけろりと治し健康體となられん事を御奬め致します、又人助けの爲め他人にも知らせて下さい

全治者の實話

私は五六年前より腸が惡い爲め少しの堅い物を食つても酒を飲んでも下痢をし腹を痛め下腹しぼり如何なる榮養分を食つても身に付かず身體は衰弱して痩細り顔は蒼く日々の家業も出來ず醫者は勿論有名なる病院にも入院をし其他出來るだけの養生をし有りとあらゆる藥も服みましたが其效なく途方に迷つて居る處にデルビーの發見されし事を聞き知り、始めは五日分を服用せしに一包一包と其キキメ顯はれ僅か一箇月にして全治しました、今は御蔭にて體量は增し日々の家業に勵いて一家幸福の日を送つて居ります、其後は他人にもデルビーの效力偉大なる事を知らせて居ります

福岡縣浮羽郡田主丸町 神代圓太郎

デルビー

デルビー定價
（十五包入）金一圓 （三十二包入）金二圓
（四十九包入）金三圓 （九十四包入）金五圓

注意 主治效能

本劑を服用すれば必ず大便は眞黒色に變じ腸胃の惡毒を消し下痢を止め實に天下唯一の特效藥なり、大便が眞黒色に變ずるは本劑の特色にして效力の顯はれたる證なり
△便祕の人は服用すれば胃腸を整へ通じを能くす
●慢性腸加答兒●[illegible]赤痢●胃痛●宿醉●吐瀉●疫痢●急性腸加答兒●食傷●水あたり●暴飲●暴食●消化不良●其他下痢症一切に用ひ下痢を止め腸胃の惡毒を消し消化液を補ひ食を進め以て腸胃を健全ならしむ

臺北市榮町四丁目
本舖 信生堂 森田藤吾

代理店
臺北市本町 資生堂
臺北市新起町 山陽堂
臺北市榮町 廣生堂

◇―全島到る所の各藥店にあり―◇

胃弱 乳兒
キノミール
ぐんぐん育つ
和光堂

王冠赤十字葡萄酒

臺灣總督府 陸軍衛戍病院 傳染病研究所 其他各地病院 御用

潑剌たる健康！

既に定評ある赤十字は我國唯一の純粹藥用葡萄酒でありまして、虚弱者は勿論健康者も

食前に一杯！

飲用を續けますれば著しく食慾を進め血を增し肉を肥して潑剌たる健康を保持することが出來ます。特に産前産後の婦人に好適！

增血補腎純粹藥用葡萄酒
飲用赤十字之作用因本藥緇大榮養素能增胃液完全推行消化力增血補腎更治
氣弱血衰、精神恍惚、身體疲勞、四肢無力
胸隔痞塞、飲食不進、頭目暈眩、面瞼黃瘦
咳嗽生痰、唇焦口燥、遺精盜汗、經水不調
特爲産前産後婦女飲用補血滋强治去惡阻婦健兒强之大靈藥也
▽代售 全島到處各藥房各洋酒舖

精力體力の旺盛を望む人に！
潑剌たる健康美を欲する人に！

進物御贈答用に極めて體裁よく、便利重寶であります。

全島到處の著名藥店洋酒店で販賣してをります

日本政府特許
Medicinischer Wein
AUS
RHEINGEGEND

コドモのかぜねつに
オイン

お子様は抵抗力が弱いから、少しも副作用の無い、効力の強烈な小兒專門解熱藥「オイン」を用ひるのが一番安全です

コドモのかぜねつ、はやりかぜ、麻疹、はしか、百日咳、其他熱病は、この「オイン」に限る

價 二十錢より一圓
各地藥店にあり
[illegible]

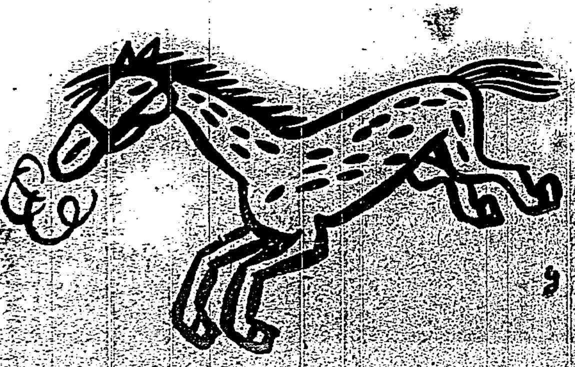
一九三六年
お正月
アケマシテ
オメデトウゴザイマス
パピリオ
新發賣粉白粉（十二色）六十錢
A1

臺北市街圖（定價金五十錢 送料二錢）
臺灣日日新報社 商事課

タバコのみの
歯磨スモカ

鼻呼吸の荒いのは疾いからです いえスモカの利目のことで

煙草化粧品 藥店ニアリ
定價十五錢
765



廣告は宣傳の近道な

さあ來い今日は
はれやか
のんでるゾ
[illegible]

會葬御禮
鈴木登

臺北地方法院新竹支部判官永井英兒儀病氣入院中ノ處舊臘三十一日午後零時五十分死去致候條此段謹告仕候
追而來ル六日午後二時新竹公會堂ニ於テ佛式ニ依リ[illegible]
昭和十一年一月四日
男子 永井隆太郎
親戚總代 永井健藏
武藤武三郎
友人總代 池内善雄
眞田俊雄
太田重助
和田一郎

きのふめでたく
宮中『政始』の御儀
嚴かに行はせらる

【東京四日發】今四日天皇陛下御政務を執らせ給ふ初の日宮中では御恒例により東一ノ間で政始の儀を嚴かに行はせられた、午前十時に先立ち岡田首相以下各國務大臣、一木樞府議長、湯淺宮相等は何れもフロツク、モーニングに威儀を正して參內東二ノ間に參入、天皇陛下には陸軍族式御通常禮裝に大勳位副章御佩用、松平式部長官の御前行、湯淺內府、鈴木侍從長、本庄侍從武官長奉し參列諸員最敬禮裡に東一ノ間なる御座の間に出御遊ばされた、正面玉座に著御遊ばされると內府、侍從長、武官長、白根內閣書記官長、大谷宮內次官、宮內書記官順次御間の扉內に伺候し、侍從、同武官は扉外に控へて御座に入る、かくて岡田首相は謹嚴なる足どりも靜かに東一ノ間なる陛下の御前に參進

内閣總理大臣從二位勳一等功二級　岡田啓介
神宮祭主申昨昭和十年中神宮恒例諸祭典總而無御滯被爲濟候事
昭和十一年一月四日

と奏上、次いで湯淺宮相は

宮內大臣正三位勳一等　湯淺倉平
昨昭和十年中宮中諸祭典總而無御滯被爲濟候事
昭和十一年一月四日

と奏上陛下には一々御うなづき遊ばされて御聽取同十一時御儀を御終了、諸員の最敬禮裡に入御遊ばされ諸員に酒饌を賜はつた

駐支英米兩大使が
近く蔣氏と重要會見
兩氏から北支自治問題に關して
何等か意思表示せん

【上海三日發聯合】カドガン英大使、ジョンソン米大使は近く北平より南京に赴き蔣介石氏並びに張群外交部長と會見することゝなつた、英米兩大使が同時に南下し國民政府首腦と會見することに北支自治に關し國民政府に對し何等かの意思表示をなすに非ざるやと各方面から注目されて居る

內蒙自治政府は
强靭な防共第一線
新年劈頭の明朗なる收穫

【北平三日發聯合】滿洲國の西接地帶たる東部察哈爾大隊に於けるチヨトバチヤブ氏及び李守信氏の內蒙自治政權確立は北支目前の最重要問題たる赤化共同防衛に對し極めて重大なる意義と役割をもつもので、新疆外蒙より北支及び滿洲に向つて侵入せんとしつゝあるソ聯の赤化勢力を反擊すべき防共前哨地帶としてその將來は頗る注目されるものである、即ち宋哲元氏の冀察政務委員會とは最近の機會に於て防共軍事協定の締結を見んとするに至り之に一歩を先んじて內蒙自治政權の確立を見たことは今や時間の問題たると相俟つて極めて强制なる防共第一線の基礎固めが出來たわけで、一は外蒙により赤化勢力を喰止め、且つ之を赤化工作の根源たるソ聯の東洋赤化政策を內外蒙古の接觸地帶で完全に阻止し得ることゝなる、これは千九百三十六年劈頭の明朗なる收穫で看過すべからざる宋哲元政權に一大衝擊を加へ必然的に防共軍事協定の急速なる實現が期待さるゝに至つた

口に親日を叫ぶも
誠意を認め得ず
南京政府の對日外交に付
須磨總領事が外相に報告

【東京四日發】新暦二十一日歸京した須磨南京總領事は四日午前十時外務省に登廳、先づ重光次官及び桑島東亞局長に對し有吉大使の言明を報告し、最近の支那政情、就中蔣介石行政院長の對日外交方針を仔細に檢討し之れが對應方針に關して重要進言を行つた、即ち須磨總領事は蔣介石氏は汪精衛氏の對日外交方針を踏襲すべしと言明しながらも兩國間に重大なる諸懸案の解決に對し何等の誠意を示さず所謂親日內閣を組織して口に親日政策を標榜しつゝも學生の排日運動を放任し、親日派要人に對するテロ行爲を看過した、斯の如き一般政情は如何なる點から見るも日支關係の好轉と云ふを得ず、帝國政府は此の際乾坤一番、南京政府の出樣如何を嚴重監視の必要がある

と述べ、次いで南京會議に對する帝國政府の對策に關し種々協議を遂げた、須磨總領事は夫れより同十一時卅分外相官邸に開かれた廣田外相主催の新年宴會に列席、右宴會終了後午後三時より更に廣田外相と會見の上、現地の報告を了し南京會議に對する重要進言を試みたが現地案は大體に於て南京會議に時期尙早となすものであり、之に對する廣田外相の處斷は一九三六年度日支外交劈頭の事業として各方面から注目されてゐる

宋軍の五十名が
わが國旗に暴行
事實とせば重大化せん

【天津四日發同盟】天津駐屯の宋哲元麾下第二十九軍部隊兵約五十名は二日市內某所の日本國旗を引下し暴行を働いたと傳へられるので目下支那駐屯軍に於いて眞相を調査してゐるが若し事實とすれば事件は重大化するものと觀られてゐる

"日本の政策を
米國は默認せよ"
米宣教師が演說

【バーミンガム（アラバマ州）三日發聯合】アメリカ南部バプテイスト教會東洋布教部監督テイ・エム・ランキン氏は三日バーミンガムで極東問題に就き演說しアメリカの所所に生じてゐる日本非難はその國情諒解の不足に基くものであるとて左の如く述べた

日本を一口に軍國主義と言ふが日本の政策はその政府的社會的產業的諸問題の錯綜から生じ來つたもので仔細に之を探究すればアメリカはこれに對して寬容の態度をもつて默認すべきものであるといふことが判る

支那人警官が
列車の停車を强要
邦人と支那人が重輕傷

【天津四日發聯合】三日午後四時過ぎ北寧線急行列車が昌黎を發して北寧河に向ふ途中、制服の支那警官三名が列車不停車驛に停車を强要押問答の擧げ句警官と擧銃で渡り合ひ支那人鐵道警察官及び乘客日本人下野圓造外支那人五名は重輕傷を負ひ不逞の三支那警官は混亂に紛れて列車から飛び降り逃走した

米議會開會さる
戰時中立維持の新法案上程

【ワシントン三日發聯合】アメリカ議會は三日正午をもつて開會、先づ下院ではマツクレイノルヅ下院外交委員長がピツトマン上院外交委員長と協同提案に係る戰時中立維持に關する新法案を劈頭上程し審議を求め、次で前議會以來の懸案たるパツトマン老兵年金法案に關し若干討議を行つた後散會、午後は休憩し夜九時から左の如きルーズベルト大統領の議會教書發表あり、これに依つて愈々今議會は本舞臺となつた

米大統領が教書を發表

ル大統領の教書

顧れば余が合衆國の政務を執ること既に滿三年に近い、その就任の時には世界が割合平和であつたため余は列國關係の敦厚と通商の增進と國家間の障壁の除去と相互的信義とが其時より益々加へらるべきことを當時衷心から期待したのであつた、然してこの善隣政策は幸ひにして我等の西半球に於いては爾來次第にその力を得來つたけれども他方千九百三十三年以來ヨーロツパ及びアジアの多くの大國の統治者の間に認められたる意向は決して人類間の平和とか善意とかいふ目標を目指すものではなかつた、斯かる不幸なる意向の下に到達せらるべき境地は猜心と敵意との增大であり、侵略傾向の顯著なる發現であり軍備の擴張であり然して自制心の縮小であり、結局一般的戰爭の悲劇へ接近せんとする多くの危險なる要素を包藏する所の戒心すべき情勢に外ならぬのである、アメリカ以外の大陸では多くの國々殊に小さな國々は若し單獨に放任されても現存國境をもつて滿足し諸問題を平和的に解決しようと欲してゐる、然し夫等の國々の支配者は今や他の國々の支配者の中に平和手段に依つて人類を向上せしめようといふ主義を遵守しないものがある場合を顧慮して之を警戒しなければならない事情に陷つてしまつたのである　然し獨裁的政治下にある國々の大衆に向つて吾々が說教を試み侵略の不當を說いてみたところで支配者がなるべく事物を變革させようと企てる限り說教は單なる言辭をしか意味しない、世界總人口の九割までは現在の國境線を變更せずに滿足しようとして居り且つ進んで軍備を縮小せんことを好んで居る、而して殘る一割だけが爭軍備强行を目指して居るのである、アメリカ政府の政策は軍備制限の熱望と完全に合致するもので紛爭を平和的に解決し且つ專制に對し民主的反對を堅持するものである、若し戰爭が今後と雖も不可避のものであるならばアメリカは最もよく秩序立てられたる嚴正中立維持の立場を堅持せねばならぬと同時に、適當にして充分なる國防を充實し且つ交戰國を平和へ引戾すことに全力を注がねばならぬ

戰時中立法案の大要

【ワシントン三日發聯合】三日開會のアメリカ下院に提出されたる恒久的戰時中立法案は大體左の如き內容のものである

一、直接戰爭に關係ある武器の交戰國への輸出は從前通り强制法として禁止する
一、棉花、石油等の如き特殊商品の交戰國への輸出制限は任意法としてその制限權限を大統領の裁量に委ねる
一、食料品の輸出禁止は行はざることとす
一、交戰國民に對しては通常貿易を賄ふ程度の短期クレヂツトの外長期借款又はクレヂツトの設定を禁止する
一、交戰國は宣戰の時期の遲速を問はず總て交戰國として平等に取扱ふ、但アメリカ議會が右に反する決定をなせる場合は此限りにあらず

根本大佐
上海に到著
磯谷少將と懇談

【上海三日發聯合】西南視察を終へた根本大佐は三日午前十時入港の靖國丸で著滬し正午陸軍武官官邸に磯谷少將を訪問、西南情勢を報告種々懇談を遂げた、尙同大佐は今明日中に有吉大使、佐藤海軍武官と會見の上南京經由天津に向ふ豫定

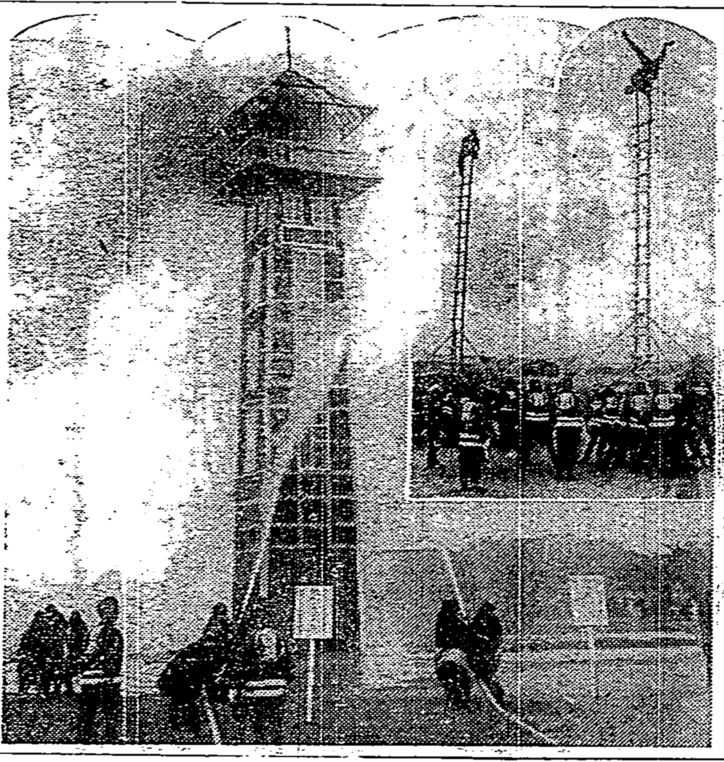
漢口の邦商が
圓建制を實施

【漢口四日發同盟】幣制改革斷行及び世界的銀恐慌に依り支那通貨の不安は益々增大しつゝある折柄先般來上海に於ける邦人商店が圓建制を實施してゐるに鑑み當地でも漢口商業組合が發起となり寄々協議中の所愈々漢口銀行との諒解成立し一月一日より左の方法に依り當地邦商は一齊に圓建制を實施してゐる

一、從來の貸借金も全部圓建に切替へること
一、圓弗の換算は漢口銀行の中間相場を採用する

メキシコ政府は
對ソ國交を回復か
勞働團體が盛んに運動

【メキシコシテイ二日發聯合】ウルグアイ對露斷交の折柄メキシコ政府では同國勞働諸團體等よりの猛烈な運動に鑑み對露國交回復を考慮するに至つた模樣でメキシコ駐在列國外交團の注目を惹いてゐる、右は現政府が勞働團體の諸勢力と密接なる關係にあり、これまでに屢々同樣政務に關して勞働團體の要求を容れ來つた事實に徵しても可能性乏しからざるものと見られてゐる、因みにメキシコ政府は千九百二十八年駐在ソヴエート公使館の共產主義の煽動宣傳を理由として斷交し今日に至つたものである



臺北の消防出初式

總督府の御用始式
市內各官衙でも擧行

總督府御用始式は四日午前十時から二階正廳にて擧行、中川總督をはじめ平塚長官、各部局長、府內各局員出席中川總督は別項の如き式辭を述べこれに對し平塚長官一同に代り答辭をなし同十時二十分閉式した尙臺北州廳、臺北市役所はじめ市內各官衙にても同樣御用始式を擧行した

式辭

昭和十一年の新春を迎へ茲に御用始の式を行ひ相共に溌剌たる新春の元氣を以て復び奉公の政務に邁進し得ますることは御同慶に堪へざる次第である私は各位と共に先以て皇祖皇宗の威靈を擧拜し皇恩の廣大無邊なるを感謝し奉り彌榮えます皇室の御隆昌に對し衷心の御壽を申上げる、惟ふに新年は何れの年にありても重要であるが所謂一年の計は元旦に在りで吾々の最も大なる自省修養の一轉機として其影響するところ常に甚大なることは言を俟たぬが本年は特に其重要さが强く吾人の頭に響く、思ふに萬人感を同じうするものと信ずるが之れ蓋し本年の時局が如何に重大なるかを意識せしむるものがあるからで之れに對する吾人年頭の自省と覺悟も亦例年に倍加するものでなくてはならぬ、今や帝國は東洋の平和確保の爲め國運を賭して世界列强と樽俎折衝の間に在り、本島の使命亦愈々重大を加ふるの秋で克く此時局に對處して遺算なきやうにと心掛ける吾々としては國體觀念を愈々明徵にし國民精神の作興に努めると共に敎育、產業、交通貿易等の整備振作を圖り物心の兩全國力の充實を期せねばならぬ、時局に對し徒らに焦躁であつてはならぬ事言を俟たぬが夫れと共に假令明日萬一の事あるも敢て愕かざる丈けの用意と覺悟とは常時に於て存することが肝要である（後略）

所の御用始式は四日午前十時より會議室で行はれ川添市尹から殊に明朗に勉勵するやうとの訓示あり之に對し齋藤助役答辭を述べた

臺南【臺南電話】臺南州の御用始め式は四日午前十時會議室に全職員參集の上今川知事より新年の挨拶並に一場の訓示を與へ之に對し林田內務部長一同を代表して答辭を述べ閉式した

高雄【高雄電話】高雄市內各官衙の御用始め式は四日夫々擧行された、州廳並に市役所は何れも午前十時より內海知事並に松尾市尹の挨拶あつて閉式した

臺中【臺中電話】臺中州廳では四日午前九時廳正廳にて御用始め式を擧行日下知事新年の挨拶ありこれに對し國內務部長職員一同を代表して答辭を述べ十時閉式した

花蓮港【花蓮港電話】花蓮港廳の御用始め式は四日午前十時廳會議室に於て擧行され藤村廳長の新年の挨拶並に一場の訓示あり之に對し手貝警務課長の答辭あつて十時半閉會した

各地の
御用始式

嘉義【嘉義電話】嘉義市役[illegible]

臺北消防組の
勇壯な出初式
式後市內を火防宣傳

臺北消防組の出初式は四日午前八[illegible]時[illegible]を合圖に市內末廣町四丁目末廣小學校運動場に各區消防自動車集合、整列に擧行された、定刻七時石黑警務局長、野口州知事、松岡市尹、石川[illegible]部長、臺北署長以下官民多數臨席、既定の[illegible]に次いで國歌[illegible]宮城遙拜、同組長の令旨奉讀の後組長の人員報告、[illegible]署長の服裝[illegible]及び[illegible]に設けられた塔に點火され、樂隊吹奏と共に勇壯なる消防演習が開始せられた、それより梯子乘り[illegible]組員[illegible]知事訓示、[illegible]答辭[illegible]消防自動車に分乘し[illegible]市內火防宣傳を行つた

各地の出初式

高雄【高雄電話】高雄[illegible]廣場に於て東本組長以下全組員入場、各私設消防組、壯丁團等集合し內海知事、廣谷內務、宮尾警務部長、松尾市尹、中村一造氏等官民多數臨場の下に擧式君が代のラツパ吹奏裡に國旗を掲揚し木遣り音頭勇ましく纏ひ振りあり工藤署長の操法報告、內海知事、宮尾警務部長、松尾市尹の各祝辭あり東本組長の答辭あつて最後にポンプ操法梯子乘り放水消火各演習あつて同九時閉式これより市內各所に於て梯子乘りを演じ市民の喝采を博した

臺南【臺南電話】臺南消防組の出初式は四日午前八時から臺南公園で擧行、今川知事、林田、佐々木警務部長、古澤市尹、青木憲兵隊長外官民多數[illegible]監督の下に擧行、國旗掲揚令旨奉讀、式辭あつて後村上組長の經過報告消防署長の點檢成績報告に次いで十五年勤續中條清八、田口字一、櫻井吉三郎三氏十年勤續高島清平外五氏の表彰後知事訓示並に酒肴料授與あり村上組長の答辭あつて分列式各種ポンプ操法梯子乘あり最後に壯烈な消火演習に見物人の喝采を博して同十時終了したが、更に市內目拔きの各所で梯子乘りを演し市民を喜ばせた

新竹の出初式

【新竹電話】新竹消防組の出初式は四日午前八時より新竹州廳構廣場にて增田知事外官民多數臨席の下に擧行された、組員の分列式ポンプ操縱、梯子乘り、消火演習等恒例の如く行はれ九時半終了した

嘉義の出初式は
六日擧行

【嘉義電話】嘉義消防組の恒例出初式は六日午前八時より元女子公學校廣場で行はれるが午後六時より公會堂にて組員の慰勞を兼ね新年宴會を開催すると

花蓮港【花蓮港電話】花蓮港街消防組出初式は四日午前八時より花崗山で擧行、山田組長の總指揮の下清水支廳長の實務報告、高橋八郎氏外十名の表彰、廳長訓示ありポンプ操縱梯子乘等あつて終了した

臺中【臺中電話】臺中消防組出初式は四日午前七時半より日下知事、細井警務部長、藤田市尹、大塚署長、外來賓多數列席の下に臺中公園招魂碑前に於て擧行されそれより先き午前六時號鐘を合圖に全組員詰所前に集合消防自動車に分乘して公園に到著定刻國旗掲揚國歌合唱、組長の令旨奉讀、大塚署長の服裝器具點檢成績報告、日下知事の訓示、藤田市尹の祝辭、酒肴料授與、組長の答辭あつて式を閉ぢ直にポンプ操縱梯子乘り消火演習等あり同九時終了した

馬公陸海軍各部の
勅諭奉讀式

【馬公四日發】馬公の陸海軍各部隊では四日午前九時より夫々勅諭奉讀式が行はれ澎湖廳では同十一時より龜元廳長によつて職員全部を會議室に集め御用初めの式が擧げられた、尙馬公要港部では例年の通り四日午前防火演習は和田司令官、木暮參謀長以下各部隊長臨席の下に久保防備隊司令指揮にて壯烈に行はれた

屏東飛行聯隊
の初飛行

【屏東電話】屏東飛行聯隊の初飛行は四日朝八機編成で南の空より嘉義市上空に飛來同午前十時五十二分頃再び姿を消した

澎湖郷軍聯合分會から
軍縮全權に感謝電

【馬公四日發】澎湖在郷軍人聯合分會では四日午前十時より馬公街公會堂にて三浦分會長によつて勅諭奉讀式を行ひ終つて協議に入り滿場一致在ロンドン我軍縮全權に對し本日迄の勞苦に對する感謝の意を表し尙此の上御奮鬪を祈る旨の電報を發することを議決即時發送した

藤沼氏の視察
日程一部變更

既報來臺中の貴族院議員藤沼庄平氏の島內視察日程中一部は次の如く變更された

△五日　前八、三〇臺中千代の家發、正午日月潭著、後二、〇〇同所發、同四、〇一二水著、發同五、一〇、嘉義驛著（青柳泊）
△六日（月）　前八、〇五嘉義發、後二、三五、阿里山著（泊）
△七日（火）　前九、四〇、阿里山發、後三、一五、嘉義著、發同七、〇〇頃、臺南著（東屋旅館）
△八日　以下變更ナシ

臺灣正米市場
の初立會

臺灣正米市場の初立會は四日午前十時半から開催された、立會劈頭米穀課長を讀めて場外では丸福米が昨年の納め相場に比し五十丁高を唱へ著高人氣で島內立會の盛況もなかつた、商工課長代理天野臺北州勸業課長、宇田臺北米穀所長、甲斐穀出米商組合理事ら關係官民多數の臨席あり、貝山常務の挨拶、眞宗要長、宇田所長の祝辭あつて十一時から立會を開始、二期蓬萊米は當限十圓五十錢と二十八丁高に寄りダレ込んで四十六錢と止め十七車出來中限は十圓五十錢と十二丁高に寄り五十九錢あつて五十七錢と止め二十四車出來、先限は十圓八十四錢と十九丁高に寄り跡强んで七十九錢と引け六十九車、二期丸糯米は買人氣强く當限は變成されて出來不申中限は十二圓〇六錢と五十三丁高に寄り七錢あつて跡利喰現はれ小浮動あつて二錢と止め二百六十七車出來、先限は十二圓十五錢と五十一丁高に寄り二十二錢まで伸び二十一錢と大引三百二十八車出來盛況裡に正午頃終了した

砂糖初相場
メッキリ高い

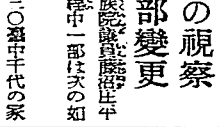
四日の大阪消費砂糖は一月限十三圓卅四錢と新規大納會値に比し八錢高、四月限十三圓〇九錢と二十四錢高、五月限十二圓二十一錢と二十五錢高を告げ新甫六月限十三圓二十六錢と十五錢上穩に打止め株の春ボケ期米の軟保合に對し砂糖獨り侮り難き氣勢を示した、一方島內市場は舊臘來步留不良の爲め作業を休止せる工場多く帝糖の如く作業を開始せる會社も內地移出に追はれて島內へは賣出さないので越年後品ガスレを訴へ折柄內地の初市上放れを入れて人氣頓に買煽り四日安部幸の手で南部へ四車中双納稅七十七圓八十錢で初商內出來續臘末より二十錢高を告げアト十七圓九十錢買人とメッキリ高氣配を示し臺北では商內殆んど來なかつた、耕地白糖はイーケ一二十一圓五十錢シ一双二十一圓八十錢と之また臘末より三十錢高を唱へてゐる

增田知事が大湖郡
蕃地を巡視

【新竹電話】增田知事、高原警務部長は六日より五日間の豫定で大湖郡蕃地の巡視をなすと

督府辭令

師範學校敎諭　木原　義行
七級俸下賜
補臺北第一師範學校敎諭
師範學校敎諭　小倉　晁二
七級俸下賜
補臺南師範學校敎諭
地方理事官　飯島　稔
九級俸下賜
高雄州岡山郡守を命す
師範學校敎諭兼臺北步兵少尉
正八位　木原　義行
從七位勳八等　小倉　晁二
任督府師範學校敎諭
敘高等官七等（各通）
交通局書記兼府屬　飯島　稔
任督府地方理事官
敘高等官七等
地方理事官　陳　安澄
依願免本官（以上內閣）



高千穗丸より

（來航）初航海の本船は四日朝來海面穩かにして平穩なる航海を續けをり五日午後一時基隆著の豫定、宮城東北帝大工學部長とせる機械學會出席七博士、原田商工課長、藤江國際運輸專務、長岡貿易時代社長、村田、林、大井大正興業重役、合同國際運輸取締役、村中木材商事專務の諸氏（四日著無電）

人事

▲宮城音五郎氏（東北大學敎授、工學博士）▲石川登喜治氏（[illegible]工學博士）▲淺川勇吉氏（日本大學敎授）外六名機械學會大會に出席の爲め五日來臺
▲藤沼庄平氏（貴族院議員）四日臺南へ
▲內藤豐次氏（東京田邊商店重役）三日高雄より來北、四日花蓮港へ
▲永田[illegible]三氏（貿易時代社長）五日來臺（[illegible]）

謹賀新年

御雛人形　教育玩具　卸商
村山商行
臺北市本町

薑汁物類　食料品問屋
酒卷本店
臺北市榮町　店主　村山

最新柄の洋傘とショール
日進洋傘店
臺北市本町二　電話四六六番

實用百貨新品豐富
日進マーケツト
臺北市本町一　電話二二〇八番

宣德火鉢　花瓶　掛物　大特賣
美術床置物　朱檀製茶棚
花道や茶道に　水盤　海端　竹　一重　盛花　生花臺　其の他
▲宇治茶▲紅茶▲烏龍茶▲各種
國盛進商行茶舖
臺北市榮町　電話五四番

最新　和洋雜貨
瀧村兄弟商行
臺北市本町の　電話八六番で

安い自慢の㊥陶磁器ならなんでも有ります
陶磁器
本店　臺北市榮町　電話九九六番
支店　臺北西門市場新賣店
㊥中林陶器店

明けましてお目出度う
本年は尚一層全島の產物や珍品を豐富に取揃へ勉强專一に致しますから御旅行の節は是非御引立願ひます
臺北市榮町四
三共舍臺灣物產店
電話七〇六番

㊎は斷然お安い正札の店
既製服專門　婦人服　子供服
吉村洋服店
台北市榮町三丁目　電話四三三九番

謹で新年の御挨拶を申上げます
寫眞機械　娛樂用　營業用　活動用
材料藥品附屬品一般
東京小西六本店代理店
オリエンタル寫眞工業株式會社特約店
昭和寫眞工業株式會社特約店
[illegible]寫眞フヰルム株式會社特約店
寫眞機並材料問屋
西尾商會
臺北市榮町一丁目

基隆郡瑞芳庄金瓜石
東洋鋼材株式會社
金瓜石鑛山出張所
三機工業株式會社
臺灣派出員

高雄市湊町
割烹　稻福
電話一四一八番

錠劑 わかもと

胃腸 榮養

コドモを丈夫に

愛用者大懸賞特賣！

世界三十ヶ國販路進出記念として

只今全國藥店にて

抽籤券付と御指定の上お求め願上げます。

○全國藥店にて「錠劑わかもと」三百錠入一個お買上げ毎に左記の大當り抽籤券一枚、千錠入一個お買上げ毎に三枚、洩れなく添付致しますから、抽籤券付と御指定の上お求め願ひ上げます。

此の福運は誰の手に？

一等	（三千圓當籤付）拾圓勸業債券	二枚宛	二名
二等	（三千圓當籤付）拾圓勸業債券	一枚宛	四名
三等	（千五百圓當籤付）五圓貯蓄債券	一枚宛	二十名
四等	（四六判二百頁）家庭で御重寶な書物	一部宛	二千名

（十萬枚一組に對し）

五等景品 お子樣大喜びの彩色漫畫繪本 現品に洩れなく添付

お腹をこはし易いコドモ

お腹をこはし易いコドモ程、母親にとつて惱みの種はない。一歳未滿のコドモの死亡數の多いこと、日本は正に世界文明國中の第一位であるが、その大半は消化不良、即ちお腹をこはすことから來てゐる。

コドモの消化不良は、その大便を見てゐればわかります。黄色くて明るい軟便、人工榮養兒ならば稍黑みを帶びて固まつた便、この色が變になつて來る。甚だしいのは青くまた綠色になる。顆粒が混じるねばくした液體や泡沫が混じる、消化不良の證據です。

消化不良は 全身の障碍

これは單に胃腸が弱いといふ樣なものでなく、全身に亘る榮養障碍で、手當を誤まれば可憐な生命を脅かすであらうことは、今日では素人でも知つてゐる。と同時に手當も迷ふことなく『錠劑わかもと』を服ませるのが一番いゝといふ事も殆ど常識となつてゐます。

人工榮養兒ならば、どんなに注意して見ても消化不良は免かれないといはれてゐる位ですから、平生から『錠劑わかもと』を用ゐて、不幸を未然に防ぐ用意がなくてはなりません。

消化不良の原因は 榮養の不足

消化不良の原因に就いては、まだ疑問の餘地があつて、或ひはビタミンBの不足とする説もかなり有力であり、日本人に特に多い理由としても肯けますが、假にビタミンBでないにしても、何等かの必要な榮養成分の不足が原因だといふことは想像されます。

ビタミンBの含有量に於いても、目下の所『錠劑わかもと』以上のものはないのであるが、既にビタミンに止らず凡そコドモに不足しさうな榮養分は、大抵本劑中に含まれてゐるから、これを與へて消化不良が防げるのは當然で、全國の小兒科專門醫や、愛兒のある家庭から、推賞を博してゐる所以であります。

風邪を引き易いコドモ

コドモが風邪を引き易いといふことは、病菌に對して抵抗力が弱いといふ事です。誰でも知つてゐる通り人體の要所々々には淋巴腺といふものがあつて外からはいる病菌といふ病菌を、そこで喰ひ止める働きをする。

風邪の病菌は最初に、鼻や咽喉の粘膜、扁桃腺などについてそこを足場として内臟に侵入します。その場合に淋巴腺の力が強いとこれを喰ひ止めるが、その力が弱いと内臟を冒されるので、さうなれば既に風邪ではなく、氣管枝炎あるひは腎臟炎や脊髓炎などにもなるわけです。

體内の產業を 振興する必要

そこで風邪を防ぐには、病菌の最初の足場たる粘膜や扁桃腺、また防禦の關門たる淋巴腺を强壯にしなくてはならぬわけですが、一國の國防でも第一線に立つて外敵の侵入を防ぐ兵士に、十分の働きをさせる爲には、國内の產業を盛んにし、糧食や兵器を豐富に供給しなくてはならぬ樣に、身體を病菌の侵入から守る爲には、體内の產業たる榮養攝取と新陳代謝を盛んにしなくてはならぬ。

食慾が病氣の經過に重大な意味を持つて來るのは、食慾の有無が體内の產業の盛衰を示す標準となるからです。即ち食慾が無いといふことは體内の產業機關へて糧食原料が缺乏を告げてゐる證據です。

食慾を盛んにし 血液を增す

『錠劑わかもと』をコドモに與へると、どんなコドモでも食慾の盛んになることは驚くべきものがあります。もし此時コドモの血液を檢査して見ると、赤血球も白血球も著しく增加してゐるのがわかるでせう。

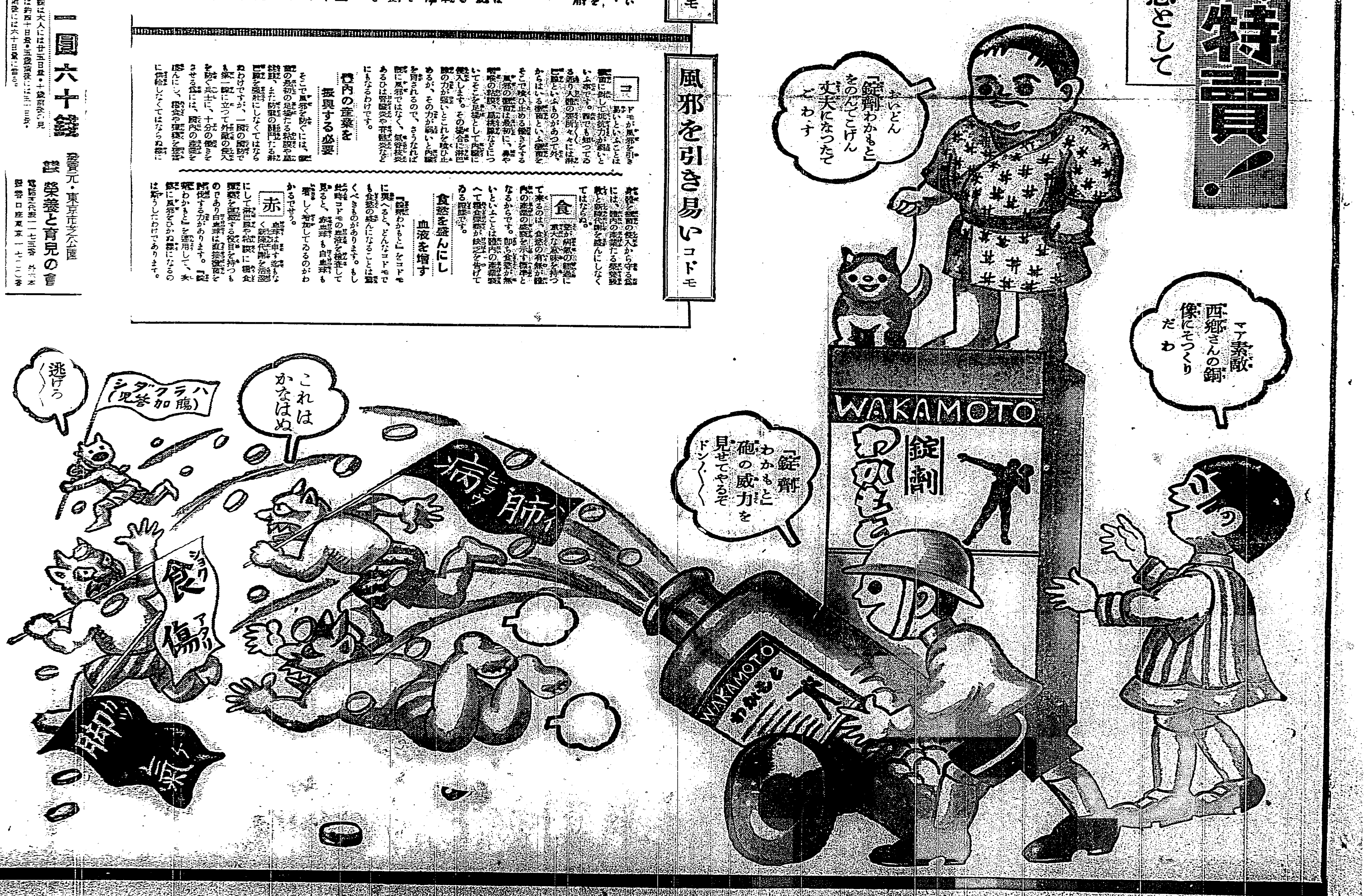
赤血球は申す迄もなく新陳代謝を活潑にして淋巴腺や粘膜に對し食糧原料を運搬する役目を持つものであり白血球は直接病菌を驅逐する力があります。『錠劑わかもと』を運用して、丈夫に風邪をひかぬ樣になるのは斯うしたわけであります。

藥價低廉

（三百錠入）一圓六十錢

三百錠は大人には廿五日分・十歲前後の兒童には約四十日分・五歲前後には五十日分・三歲前後には六十日分に當る。

發賣元・東京市芝公園
[illegible] 榮養と育兒の會
電話芝代表一一七三番 外六本
振替口座東京一七二二〇番


おいどん「錠劑わかもと」をのんでこげん丈夫になつたでごわす
マア素敵 西郷さんの銅像にそつくりだわ
WAKAMOTO
錠劑 わかもと
「錠劑わかもと」砲の威力を見せてやるぞ ドン／＼
これはかなはぬ
逃げろ／＼
ハラクダシ（腸加答兒）
肺病（ハイビヤウ）
食傷（ショクアタリ）
脚氣（カツケ）
WAKAMOTO
わかもと
大

部落振興の第一步は先づ國語の習得から

61歳の老媼を初め全村擧って熱心に國語の勉強

[illegible]は無論のこと本島の將來的文化の向上も物質的文化の發展もあらゆるものの礎石は先づ國語からだ、國語の習得と普及に始まるのだ、臺南州昭和十年度の統計では未だ三三％に止まつてゐるが、ここ臺南州北門郡下に本島國語普及事業の發祥地であり、現に村民の全部が國語講習所の所員として國語の習得に、國語村の建設に燃え努めつつある乾溪子全村國語講習所を有することは、臺南州が全島に誇示する輝かしい存在の一つであらう

○

乾溪子部落の現況（昭和十年六月調べ）は戸數二七、人口男九四名、女八六名計一八〇名、職業別は畑作五戸、田畑作一八戸、日傭三戸、土木請負一戸で生活程度は低く過般の總選擧の際同村の有權者僅かに三名に徴しても文字通りの一寒村に過ぎないが、講習所は後述の有志張溪良氏の計ひで既設コンクリート造りの教室一階上に一七〇坪の遊戲場、又二三〇坪の教材花園を備へ、主事張友聖雄氏指導の下に、一枚の黒板と一臺のオルガンから全部落民に日夜一歩づつ明るい新しい世界に近づきつつあり、講習生一部、同二部が兒部、公學部、家長部、主婦部各部に分たれ夫々の部門に適應した教育と訓練作業が施され、毎週多きは十時間、少くも二時間は講習所の椅子に腰を掛け國語教育を中心に色々な知識が授けられてゐるのである

講習生の年齡は區々で最高は六一歳（女）最低は男女とも十二歳平均年齡は男二十一歳、女一九歳又出席步合は五、六月九九％、七月九七％、八、九月九八％、十月九六％、十一月九二％で村民の意氣込みと熱をさながら物語つてゐる

○

然し乍らかうした乾溪子全村國語所が作り上げられた過程には雨の日風の日もあつたのだが、あらゆる困難と障碍に打ち克つて人の力の凱歌が奏せられたのである、この育ての親こそは、そして今もなほ部落のため、尊い努力を捧げてゐる人は同地方の先覺者張溪良氏である

遠く大正十五年二月一日芝山巖祭典の日に同氏の主唱と盡力により本島最初の國語講習會が生誕し約二ケ年繼續したが昭和三年八月經費の關係で休會の止むなきに至つた、その後全島各地に國語普及が叫ばるる樣になり張溪良氏は部落振興は教育にあり教育の根本は國語にありと再び國語所の開設を林内公學校長に懇請、同派出所巡查原井治氏らの絶大な努力により昭和十年五月二十一日再度乾溪子全村國語所が生れ出たのである

この際張溪良氏は自宅を提供して敎室とし私財を投じて机、腰掛け、風琴等すべての設備を整へると同時に六一歳の老母を始め家族婦人全部を講習所に入所せしめて自ら範を垂れ、現在でも毎夜講習生の世話を何くれとなく燒いて村民敬慕の的となつてゐるが、外に十三月[illegible]を得て倒れた林内公學校前任訓導[illegible]氏は死に至るまで心血を注いで教育に當り又陳木生君、陳[illegible]兄弟は講習生の募集に甲長張國民王分、書記氏らは各甲内の世話に勵んで力を傾けてゐるのであり、之等の人々の犠牲と奮鬪に乾溪子全村國語所は日一日健かな成育を續けてゐるのである

○

終りに同講習所將來のプランを覗けば

國民精神涵養、神棚設置、國語常用指導、勤儉貯蓄心養成、部落俱樂部の設置、陋習の打破、衛生等國語教育を根底に幾多の事業が目論まれてゐるが、現在の勢をもつてすれば以上の計畫が實現される日も恐らく近い將來であらうと豫想される

劉家祐氏一家（國語常用の家庭）

講習會員記念撮影（國語講習所に於ける）

お目出度い

子福長者

ネズミ算と云ふが年兒を五人、フランスなら國家的表彰に値しようと云ふ惠まれた子福者――臺南市大宮町一丁目醫師王啟書（三）さんは愛妻の王石氏琛（三）さんとの間に昭和五年長女始臨を得たのが始まりで引續き三女二男、最短期間は次女王氏愛惠（二）が出生後十ケ月十四日で三女瑞月さんが生れてゐる、愛妻君は現在姙娠中で十一年早々又一人加はるとは全くお目出度い限りである

結婚式を轉機に斷然國語を常用

子供は全く本島語を知らぬ

劉家祐氏の家庭

臺南市にかる國語常用の本島人家庭は昨年二月臺南州が州下の國語常用家庭表彰を行つた際、五三家庭がその選に入つたのであるから市內にも數少くなくないが、その內代表的な家庭を紹介すれば次の二つがある、先づ市內西門町五ノ三二九劉家祐氏（三）の家庭がさうだ主人公の劉家祐氏は大正十二年臺南商工學校卒業後直ちに西村商會に入り昭和五年同臺南支店に轉じたもので奥さんは鄭頭氏勵英妹さン（三）新竹高女出身、兩人の間には菊枝サン（三）光枝サン（二）露枝サン（一）の三女があるが、子供さんの名前を一見して判る樣に、いかにも內地趣味豐かな家庭である國語の常用を思ひたつに至つた動機は、昭和五年臺南で結婚式を擧げたのを轉機に、日本國民である以上、國語の常用は當然であり、さうするのが今後生れるであらう愛兒の爲にも倖せであらうと夫婦が堅く申合せ、それから[illegible]者でなくては味はれない樣な苦しみ困難に打ち勝つて今日の立派な家庭を築き上げたもので長女菊枝サン次女光枝サンは全く本島語を解しないと言ふ、國語常用と言ふより全く本島語のない家庭だ「國語を常用して何か苦しいことはありませんか？」と言ふ記者の問ひに對し同氏は「たまに鄕里（新竹州苗栗）に歸つた時に子供達が父母や親戚の老人などと話しの出來ないことは隨分佗しく感じます」と答へ、[illegible]しか淋しげに笑ひを漏[illegible]るのであつた

本島語よりも

國語に堪能

國語常用の一家であると同時に本島人子弟の國語教育に努力しつつある臺南市大宮町二丁目頭川幼稚園長陳明精氏（三）を自宅に訪へば、幼稚園の方に居りますとの返事に、本町武廟內の幼稚園の一室で當の陳明精氏と對面する、同氏は臺南州虎尾郡生れ、土庫公學校卒業後京都中學に學び、歸臺してから教育、役場勤め、大日本製糖會社等に奉職、臺南の市民となつたのが昭和九年六月頭川幼稚園の歿後に仲ひ園長に推され兼ねて國語講習所講師である、夫人は吉岡ヨシさん（三）と云ひ昭和四年臺北で結ばれたものださうだが未だに子寶に惠まれず夫君の弟さん陳明宗君（ち）との三人暮しである

又父君の陳茂氏は州下の社會事業、育英事業方面殊に國語普及の先覺者として聞えた人物で、陳明精氏の語るところに依れば、同氏は九歳の時から和服を着せられ、國語を教へられ精神物質共に日本的教育が施された結果、兄弟六人の間では本島語よりも國語の方が優程達りが早い有樣であると云ふ内地婦人との愛に惠まれた同氏の現在の家庭が國語の常用は寧ろ當然過ぎる程で取り立てる程のこともないが、父子二代しかも同氏の如き溫和な少壯有爲の材が敢て老人の隱居仕事の樣な幼稚園を引受け、每月の缺損を自ら埋合せつつ言は消純な童心の教化に、夜は成人の國語教育に孜々として努力することに喜びを感じてゐるのを見出すことは、力強さと頼母しさとを沁々感じさせられる（寫眞は陳明精氏）

九十八歳の春を迎へた

臺南の陳氏玉さん

臺南市の長壽者、市內花園町二丁目一七八番地、陳氏玉さんは天保十年七月十六日生れだから昭和十一年には、實に九十八歳の春を迎へる譯だ、現在は前記住所に孫の陳阿池（三）さんに養はれ、十三歳を頭に四人の曾孫達の遊び相手をも務め比較的呑氣な毎日を繰返して居り、昭和三年御大典に際し木盃を下賜されてゐる、顏と云はず手の先まで一ぱいの皺は[illegible]と一世紀、弘化、安政、嘉永、明治から今日に及ぶ長い人生の風波を經たあとかたで淋しな感じに打たれる、家族の話によれば、目は遠く歩行に稍困難を感ゆるが言葉はまだ確かで、食事も朝はチマキ、晝は御飯を食べる程の元氣を持合せてゐるさうだ（寫眞は陳氏玉さん）

當り年の

臺南の諸名士

昭和十一年は子の歳、臺南市の當り年は比較的少く、岡田殖産課所長、青木聯隊長、竹村州刑事課長、民間では府[illegible]、[illegible]會員[illegible]陳鴻鳴氏、市會議員[illegible]位なものだ

縫物をするのが

一番の樂み

93歳の伍陳氏桂さん

臺南市清水町二丁目九五番地伍陳氏桂さんは、弘化元年四月十八日出生當年とつて九三歳、孫の經營する商館人黄[illegible]（三）さんの家に老の身を託してゐるが、耳も目も高齡者とは思へない程健全で家內の見廻り歩きは勿論、未だに縫物をするのが唯一の樂みと云ふ至極元氣なお婆さんである（寫眞は伍陳氏桂さん）

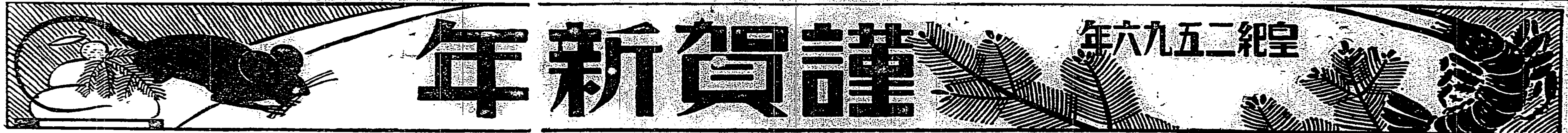
街のニュース

裁判長は甜屋さん

嘉義市に新開街名所を二分して東にのぼりや、西に嘉義菓子がある嘉義の名物菓子屋頭のお菓子屋さんだからと云つて甘黨のみが集つてゐるわけではない、東の名所のぼりやには甜屋さんだから白黒の[illegible]の[illegible]分け自由自在だが、これは又一方で人間[illegible]

嚴寒にはゆかぬ樣だ　のぼりやの店先に一寸寄つて[illegible]させる樣に主人に一段[illegible]に話まつてあれやこれや街のニュースの口頭[illegible]を聞いて[illegible]手を休めない、[illegible]に[illegible]にいつか公判廷を開[illegible]て調書し出す[illegible]的な年齡を入れる、[illegible]日とあつて[illegible]

[illegible]



皇紀二五九六年
謹賀新年

御一世帶道具
御婚禮式用品
御進物用品各種
卸小賣
家傳藥御氣妙藥發賣代理店
菊谷隆一商店
臺北市京町一ノ五〇
今　菊谷商店進物部
電話壹〇八六番　振替臺灣五七壹番

活版印刷
臺北市築地町一
山口商會
電話壹九八〇番

印刷
臺北市京町一丁目公會堂通り
登記商號　メイシヤマハ
御用命の節は電話貳四七壹番へ

內科一般
臺北市榮町一ノ一
山崎醫院
山崎[illegible]
電話一〇七番

綿布毛織
各種織物
臺北市本町一丁目
株式會社　日進商會
電話三四四番　三三五一番

高等文具が豐富に揃ひました
臺北市本町二丁目七番地
AB　惠比壽屋商店
電話壹〇貳〇番

臺北產婆會有志（イロハ順）
大和町二ノ五成淵學校隣　橋本松子
同　君子　電話壹八五八番
築地一丁目四番地　橋谷竹代　電話壹八五貳番
姙產婦お預り致します
樺山町貳〇　西川きくい　電話參五九貳番
新榮町二ノ三　本田ツヨ　電話參六五番
大和町二ノ五　堀澤ヒサコ　呼出電話七壹九番
錦町四一　落合初重　電話參五七六番
千歳町二ノ一　千歳產婦園　永久靜子
白木春子　電話貳六貳五番
老松町一ノ五八國語醫院横入　川田茂井　電話[illegible]
[illegible]　田村[illegible]
慈光[illegible]
[illegible]
佐久間町二ノ二七（稻荷前）　竹原千代　電話四〇七番
新起町五ノ一目三十三番地　長浦フジノ　呼出電話參五五貳番
北門町一六番地　直江タケ　電話參貳九貳番
榮町四ノ六　永崎かつみ　電話六八五番
老松町二丁目一番地　野崎こう　電話參〇九五番
樺山町四九番地　古藤節子　電話四壹〇八番
新榮町二ノ二十一　小佐井貞　電話壹九貳番
建成町三ノ五　小牟田ユキ　電話四貳五番
[illegible]　安藤若枝　電話[illegible]
[illegible]　荒木[illegible]
[illegible]　佐々木[illegible]
[illegible]

本年も不相變御引立を願ひます
メトロポール
末廣町二丁目　電話[illegible]

臺北市北門町十九番地
梅屋敷
電話長 三九六番 二七九六番 二七四五番

臺北市濱町一ノ二
御料理　日本亭
電話長 一七六番 二二一〇番

新年宴會の御用命は電話三六四番又は一三三八番へ早速參上如何樣にも御相談に應じます
臺北市大和町
割烹　竹の家

臺北市西門町二ノ五
御料理　江戸長
電話壹貳九八番

臺北市西門町二ノ四
割烹　松竹
電話壹〇七參番

臺北市兒玉町
和洋御料理　仕出し　喫茶店
東家
電話 五四參番 ○七七番

臺北市大和町二丁目
御料理　まねき
電話一一九九番

臺北市若竹町三ノ角
御料理　君香
美人揃ひ

壽表町
壽し　天ぷら　よせ鍋　御料理
中惣
電八六八

臺北市新起町
御料理　と袮山
電話四〇八五番

臺北市新起町一丁目
臺北檢番
電話 三〇六 一九三一

[illegible]屋組合
電話一二六四番

臺北市西門町三ノ一九
御料理　峰月
電話[illegible]

番外　うどん　しるこ
臺北市壽町二丁目
松月
電話[illegible]

割烹　梅本
臺北　電話五五三番

御料理　有馬屋
本店　林田虎太
支店　[illegible]

萬華貸座敷組合
萬華芳明館

北投溫泉
御旅館　御料理
花月
電話[illegible]七〇番

北投溫泉
御旅館　御料理
吟松庵
電話八七番

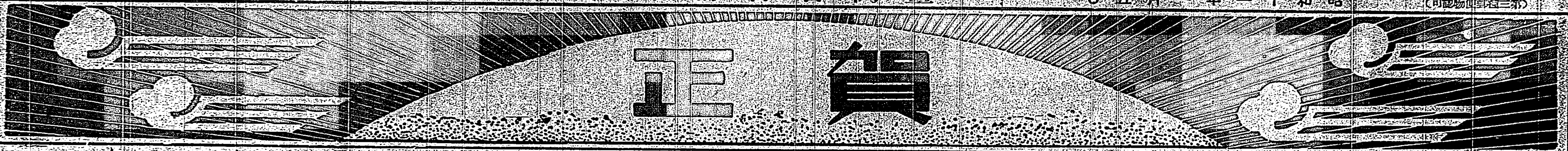
明けましてお目出度う[illegible]
北投唯一の大宴會場
北投　旅館　御料理
松濤園
電話[illegible]〇番
◉新浴場と洋室完成……

新年お目出度う[illegible]
北投溫泉
御旅館　御料理
銀水
電一三二番

一目千兩別天地
北投溫泉
旅館　割烹　食道樂
新高
電話[illegible]

眺望絶佳新築の大廣間[illegible]
北投溫泉
旅館　割烹　カフエー
神泉閣
電話六八番

北投溫泉場
入院設備アリ
松田醫院
電一〇三番



賀正

臺中市 辯護士 **蔡先於**

臺中市錦町二丁目 棚邊久太郎

東勢街長 **賴雲清**

東勢街 **寺師經二**

東勢街 **邱鳳池**

臺中市榮町二丁目 **廣裕興商會**
臺中市綠川町四丁目 **臺中ホテル**
臺中市榮町二丁目 **廣裕興**寫眞機**部**

臺中市 岩瀨啓造

臺中市 入佐藤次郎

臺中市 濱田藏治

臺中市 緒方瀧治

臺中市 田中政吉

臺中市 常見秀夫

臺中市 中津德治

臺中市 中村秀穗

臺中市 長岡寬

日本勸業銀行臺中支店 山口宗雄

臺中市 前田八十松

臺中市 上瀧汎

臺中市 小鹽三治

臺中市 樋口友吉

臺中市 平井順次郎

臺中商工協會

臺中市寶町一丁目 有限責任 **臺中信用組合**

臺中消防組

東勢街 長谷川茂雄

東勢街 古藤誠丘

東勢街 奧脇由治郎

臺中驛前 運送店 **楊阿居**

臺中市會議員 **賴慝**

臺中市會議員 **盧茂川**

臺中市橘町四丁目 禎祥拓殖株式會社 取締役社長 **林烈堂**

臺中市 東京帝國大學農學部 **臺灣演習林職員一同**

臺中市榮町一 **臺灣地方自治聯盟本部**

臺中市新富町三丁目二六番 有限責任 **臺中協贊信用組合**

臺中州自動車商會

臺中カフェー營業組合

臺中 **日下辰太**

臺中市 **鶴友彥**

臺中市尹 **藤田淳教**

臺中市 **坂本素魯哉**

臺中市 **白勢黎吉**

臺中市 **照山亨**

臺中市 新彬醫院 **陳新**

臺中州食堂會々員一同

近藤自動車運輸株式會社
社長 近藤良吉
東勢郡土牛 電話（本店東勢六　東勢出張所東勢參　豐原出張所豐原貳七）
營業種目［乘合、貨物、貸切］

臺中市 **田原哲次郎**

臺中市 **川島清**

臺中市 **石井善次**

臺中市會議員 **榊原辻太郎**

臺中市 **田邊誠一郎**

臺中市寶町四丁目 **川崎てる**

臺中州廳內 **臺中州交友會員一同**

臺中州大屯郡
西屯庄長 **張進木**
西屯庄助役 **廖進儀**
會計役 **廖德照**

村山誠忠

臺中州協議會員

二瓶源五　森部頴　宮原武熊　常見秀夫　安田稻實　田原哲次郎　中津德治　陳炘　黃朝清　張蠡生　甘得中　村山誠忠　賴雲祥　內田芳雄　陳棧治　津田尙正　楊春木　小林正之介　林伯餘　洪火煉　山下金二　林如璋

大甲郡役所 **滿富俊美**　**筒井諒庸**　**廣井源一**

清水街役場 **高橋良作**

梧棲街役場 **楊水河**

大甲街役場 **柴田一平**

外埔庄役場 **柴田清**

大安庄役場 **李晨鐘**

沙鹿庄役場 **田村勉**

龍井庄役場 **劉泉源**

大肚庄役場 **黃朝應**

菓子問屋 ⑪ **水月堂支店**
高雄市堀江町三丁目角 電話參四〇番

高雄市新濱町一ノ四二 **高雄州米穀商同業組合** 電話[illegible]
有限責任 **高雄州米穀信用購買販賣利用組合** 電話貳五六番

合資會社 **高雄檢番**

高雄料理屋組合

高雄貸座敷共榮檢番

高雄市湊町 **浪花そば** 電話貳七五八番

大木藥局 高雄市湊町 電話[illegible]

高雄市山下町 **福田屋製菓舖** 電話貳五八八番

信用組合常務 協議會員 **楊棟** 大甲郡梧棲街

李榮富 南投郡草屯五七

乾豐精米工場 **張春祿** 南投郡草屯 電話[illegible]

南投郡草屯庄 期米株式 金田商行 **張岐巖**
支店 草屯二三番
本店 南投二〇番

草屯庄協議會員 **簡水路**

帝國生命炎峰代理店 主管 **洪強**

土城廖記製米工場 **廖九芎**

臺中州南投郡草屯庄南埔 各種藥品 **茂德藥房** 李水茂

土城 **野元**

期米株式 ㊎ **金田商行**
本店 電話南投二一〇番
支店 草屯 電話一四番

二林庄協議會員 **陳趙**

北斗郡北斗街役場
街長 陳章琪
助役 岡田治之助
會計役 謝水德
外職員一同

北斗郡田尾庄役場
庄長 黃深泉
助役 松浦儀一
會計役 邱垂通
外職員一同

北斗郡埤頭庄役場
庄長 張清風
助役 松延寅松
會計役 張發強
外職員一同

北斗郡溪州庄役場
庄長 鄭添益
助役 內和田正男
會計役 謝全明
外職員一同

北斗郡竹塘庄役場
庄長 莊[illegible]日
助役 青山市太郎
會計役 曾結生
外職員一同

北斗郡二林庄役場
庄長 寺尾德右衛門
會計役 洪兩縣
外職員一同

北斗郡大城庄役場
庄長 劉崁袖
助役 詹志慶
會計役 許川田
外職員一同

北斗郡沙山庄役場
庄長 謝彭
助役 眞瀨田右衛門
會計役 謝融
外職員一同

北斗郡北斗街 經濟外交會指定旅館 **世界館**

北斗街西門通 **協和醫院** 張協銘

葉啓仁 北斗郡溪州庄舊眉

溪州庄協議會員 **王銅鐘** 北斗郡溪州庄舊眉

北斗郡二林庄外蘆竹塘 **濟美堂** 林爐 林懋

北斗郡二林庄 **二林信用販賣購買利用組合** 電話七番

北斗郡二林庄二林 **二林館** 電話四番

北斗驛前 **北斗ホテル** 電話四十二番

北斗街協議會員一同

保證責任 **埤頭信用販賣購買利用組合**

溪州信用販賣購買利用組合

北斗郡埤頭庄路口厝 **蔡有**

溪州庄協議會員
劉西江　鄭四蚶　陳文　陳清江　黃鹿寄　廖丑

溪州庄協議會員 **陳伯塤**

北斗郡竹塘庄協議會員 合資會社カレンダー商會社長 竹塘仰峯精米工場 **曾深河**
彰化電話二三七番 溪州電話出張所二番乙

北斗郡竹塘庄協議會員 **楊九良**

北斗郡竹塘庄協議會員 **曾進益**

北斗郡竹塘庄 **吉川清藏**

北斗郡竹塘庄協議會員 **廖發明**

北斗郡竹塘庄協議會員 **林丁財**

二林庄協議會員 **謝蚶日**

北斗郡二林庄二林 貸地業 **陳春**

北斗郡二林庄舊子扁 二林庄協議會員 萬興保甲聯合會長 **陳老多**

北斗郡二林庄大排沙 **貸地業** 陳梓成 陳勳

北斗郡二林庄大排沙 明[illegible]原料委員 **陳春喜**

大城庄協議會員

許水柳　中島七郎　吳連吟　陳福勝　蔡達　林甫山　許清江　許登貴　陳全晃　吳天憐　蔡孟宗　洪當

鹽糖大城駐在所

國際都市へ躍出した
基隆の發展ぶり
内外港の設備は既に完成し
歐洲航路の巨船も寄港

基隆は躍進する！國際都市の水準線上に躍り出る、巨船へ、昨十年から増加した各汎各港への航路の數を、そして十年計畫で開始された外港防波堤工事の偉容を、八尺円满等々完璧を誇る諸施設の整備に活氣を呈してゐるし港内の渡船も四六時中活躍を絶つてはゐない、税關の統計は躍り躍路岸壁の倉庫は腹をふくらまして唸つてゐるぢやないか、今年の四月からは歐洲メールの巨船も定時寄港の快報を齎して國際港基隆の整備は唯上陸の一路を辿るのみだ、が然し諸君！その躍進基隆の機構の中に重要な人の和のある事を忘れてはならない、改正地方自治制施行の結果港務代表で他地方には見られぬ例題をも飛び出した、水上署も昨年から獨立して吾等の警察を守る陸上の守備隊が構成された、港灣行政の第一線に立つ役人は常にスクラム組んで誠忠報國の念願に燃えてゐる、さればこそ力強いグーレンの響き、モーターの爆音、勞働者の掛聲の裡に國際港基隆としての飛躍を續けて行く事が出來るのではないだらうか、これが我が基隆の誇り！

今その中から一ツ二ツをピックアップして自慢の鼻を動かさうか

▲水上署刑事の六感と特務の活躍　ダダダダダと本船サロンに入りこむ係官の制私服一隊の中、最も片隅に陣取つて船客名簿を最先にとるのがこれぞ紙上でお馴染みの刑事係、平野、吳、堀、李の四コンビである、唯繰る、名簿を繰る、そしてそこに書きつけた名、名、名がボーイによつて呼び出されるとア！ナ不思議や、どれもこれも駈落ちであり、拐帶であり、偽名乘船であり、家出であるのだ、種も何もない六感のさせる神業だ、これに呼應して立つ特務は、その數十五、これまた島内へ惡い種を持ちこませぬ守備同志を誇つてゐるまさに名選手NO1

▲岸壁[illegible]は石船蟲會　「何々丸入港！」この電話でおいそれつと飛び出すもの！港務部、水上署、稅關監視部、憲兵隊、臨時檢疫部、植物檢査所、郵便局取締係、郵便局海船課、日刊各社それに當業船會社員、赤帽客引がある、がその中お役人と新聞記者を一團とした會が所謂船蟲會で岩のわれ目をぞろ〳〵とかけまはる船蟲に似た職業と云ふところからこの名の生れた所以をたゞ、現會員六十名、昨年、納涼の兩親睦會を開いて醵出の人には記念品を送る組織にもなつてゐて共同の利害には一致團結の力を示す事もある、平素は餘りペットせぬ船蟲ぢやがかうなると粗末に出來ぬ船蟲である

▲何々丸後何分！の白根臺　内臺定期船にしろ對岸航路にしろ所謂船蟲が手ぐすねひいて待ちかまへてゐるところへ「何々丸入港！」と連絡電話をかけてよこすのが人ぞ知る港頭に聳ゆる白根臺！四六時中晴雨共、氣象觀測の勤務を持つて人の知れない苦勞をする根臺職員が正規の服務以外にかうした眼のまはるやうな無料サービスをやつてくれるのである、船蟲と白根臺とは見えない絲につながれてミナト基隆行政の最前線に活躍するのだ、ただ見るだけで過せない白根臺である事を紹介して他の地方に誇りたい

國語常用で輝く
張清江氏の家庭
名譽の表彰をうく

教育の普及した今日國語を常用語とせる本島人は尠くないであらうが然し全然國語を解せぬ妻をして國語を常用せしめ且つ生活様式を根柢より改善して内地式家庭生活へ導いた家庭は、豐原郡役所に勤務してゐる豐原街豐原七百八十番地張清江氏（四十歳）の家庭を措いて多くその例を見ないのである

氏は大正四年國府工業試驗場に學び大正八年に卒業、大正十四年頃に人生の好伴侶を得て新家庭を營んだが迎へた新婦は良き妻として夫に仕へたが悲しい哉國語の半句さへも解してゐなかつた、然るに今日の如き内地式家庭を造るに至つた裏面には張氏の涙ぐましき努力と人知れぬ苦心が今日を齎したのである、抑もその物語りは……

×　×

新舊の潮流に押流されて遂に自己の理想を翻弄され父母の命により結婚をしたが妻の國語不解に稍失望した、然し既に運命は決定されたのだ、悔いて復らざるものに失望の念を抱くよりは寧ろ自己の將來を開拓するに如かずと悟りを開いた彼は結婚後間もなく「國語の家庭生活」と「内地式家庭生活への改善」を目標として結婚新生活を開始すると共に妻に對する國語指導を開始した、全然國語を解せざる者に對する指導の難事は云はずとも知れた事である、茲に於て彼は日本國民として國民の言葉を知らざるより大なる恥辱はないと說き下して發憤心を促し、自分は常に國語を使用し以て醇化に努めて來たので妻の國語力は著しく養はれ、數ヶ月後には家庭内に於ける簡易なる用務は國語で會話出來る様になつて來たので第二段の指導へと突進した

×　×

我ん坊の如くに遊び始めた妻の國語養成は本島人の外面的交渉により支障を來す事を恐れ住居を内地人の關係に移した、そして本島人の接觸をつとめて避け國語の熟達を圖るに月も足らざる有様であつた、幸ひにして張君が官廳に奉職してゐたのを機とし妻をして同僚内地人家庭を訪問させ親しく内地人の生活と言葉を見聞したので急速的に進歩して來た、さりとは言へ基礎的素養なき者は本島人の外面的折衝を極力惧れてゐたが老年たる張君の父母は郷里たる南投より遙々遊覧のためにやつて來たが國語養成に支障を來すのを心配し永年に亙り交渉を絶つてゐた程である

×　×

この夫にこの妻ありと云ふわけで夫唱婦隨の實が美しく結ばれ遂に一般會話が難なく自由自在の域に達した、この間張君は幾多の缺點を持つてゐる本島從來の生活を根柢より改善し、國語の實際を生活の上に反映させ内地式家庭生活を營むべく努力改善につとめた結果國語の上達につれ生活改善も並行的に進行した、斯くて國語を全然知らなかつた妻も天晴の偉大なる指導により一變して生れ變つた如く完全に會話が出來るのみならず新舊に趣味深い婦女が生活様式まで改善したと云ふ事は實に驚嘆に値すると共に國民精神普及史に燦たる光を放つてゐる

×　×

昭和二年長男が生れるや妻の國語力及び内地式生活様式は偉大なる力を以て之を育み、長女、次男ともこの雰圍氣内で育てたので生活上内地人子女と殆ど變る所なく數も小學校に入學してゐる、殊に子供に至つては日常用語は國語である、最近偶々郷里より老父母が訪ねて來たが祖父母と孫が對面しても言語が通じないと云ふ嘘の様な事實である、今では張君一家は内地人と何等異なる所なく遂に初志は貫徹され目下同僚友に國語常用を奨勵してゐる努力家であるが惜い事には妻は三十九歳を一期として四人の子供を殘して十年四月下旬頃に逝去したが十月頃に豐原幼稚園保姆を後妻に迎へ何れも國語を常用してゐるので十年十一月三十日州知事より國語常用家庭として表彰されたのである

張清江君の家庭—左上は張氏

タロコの峽谷は
蘭の寶庫である
名品瑞玉も同地産

蘭々で狂亂したわけでもなからうけれど世はまさに蘭狂時代、蘭狂にとつてはタロコが世界の名勝であらうとあるまいとタロコ蘭が採れてその中に三藝もの位がとび出す事があるのでタロコ蘭の產地あの峽谷一帶は蘭の寶庫のやうに言はれてゐる一世の名品と言はれた「瑞玉」を知らぬ蘭通はなからうがあれも出生地はタロコである三萬圓と言ひ四萬圓と評價されてゐるが豐隆支店土本寬君仲々手離さない花蓮港ではおそらくどこの家に行つても蘭の五鉢や十鉢ころがつてゐない所はないが全島各地から花蓮港へ來る人たちは誰しもが「蘭をみやげに持つて來てくれ」と來る又は花蓮港に來た人は「蘭はないか」と來るだから花蓮港では一と山不斷から準備し置くやうな心掛けの好い人もあるが大がいは蘭のみやげ所望には面喰つてゐる、これはまだ好いが「花蓮港には蘭が澤山あるさうですが身長一尺靑軸五百匁位のはいくらしますかすぐ送つて下さい」なんて來る人があるが花蓮港は山奥ぢやありませんよ

波瀾に富んだ九十年
馬公の名物婆さん
キビ團子で名高い岡山から
流れ〳〵て馬公まで

馬公で勇樂の婆サンと云へば、誰一人知らぬ者ない位に、有名な婆サンである、何がさう有名にさしたか、それには色々の原因があらうが、先づ年の割に驚くほど若く見え、而も元氣旺盛であること、その昔御殿仕込みの三味、唄が上手で、殊にその咽喉と來ては到底若い衆が及びも寄らぬ程に達者であること小柄ではあるが何處とはなしにその容姿が上品で、又學問があり達者なこと等が先づ此婆サンを斯くも有名にさしたのであらう。こんな婆サンには是非惠み多く、老の榮えや芽出度くなくてはならぬ筈なのに、つれない浮世の荒浪は遠慮會釋もあらばこそ、此婆サンに對しても荒々と打ち當つて、餘りに有難い惠みさへ與へては呉れない、否寧ろ氣の毒な所さへあると云つた現在の境遇である。偖此婆サン今は勇樂旅館の老女將、昔の物語りを聞くとかうだ。原籍岡山縣岡山市小野田町不詳番地、戶主濱口幸、弘化四年九月七日生（本人の言では九十六歳と云つて居るが戶籍面は斯うである）が此婆サンである。同市の立派な士族の家に生れ御殿仕込みの教育を受け所謂岡山小町と謳はれた十九の春同市の名醫に嫁いで、人も羨むはなやかな家庭の主婦として、浮世をよそに夢の様に暮して居たが、好事魔多しとやらで夫に死に別れた、それからの幸サンの運命は[illegible]

多角多面實に奇怪な物語が、その間にあるらしい。その後明治三十三年三月五十三の時、期する所あつて渡臺、基隆市義重橋附近で、雜貨屋を營み、其後同地で料理店笑花樓を經營して、漸く景氣が好く成つて來た折失火に遭ひ全燒の憂目を見たので、止むなく臺中市に移り、料理店松の江を開業して居たが、餘り營業も面白くなかつたので、齋藤某と腕一本を資本に働いて居る中、明治四十五年基隆での知人である、現在の馬公城外松の江の昧吉治平サンを頼つて馬公に渡つて來たのであつた。松の江から藝名市助と名乘つて又左褄を取る身となつた。當年取つて六十五歳であつたが誰が見ても三十前後としか見えぬ名藝妓として馬公に艶名を鳴らした者だ相な。其後縁あつて現在の池田次郎家と同棲することとなり、病院炊事、料理店勇樂等の經營を經て大正十三年から現在の旅館勇樂の女將として、齡九十歳とも見えぬ程の元氣と容姿を持つて、せつせと立ち働いて居る。幸サンには一人の子供も無論ない。どつちかと云へば家庭でも餘り惠み深い境遇と云へないことが淋しさである。その昔はなやかなりし時代、及び[illegible]

臺中名士の
かくし藝大會

理窟つぽくつて、喧嘩早いことにかけて、とにかくにも有名である臺中人は或種のウルサ型として認識される。要者のやうな、酒豪輩の見本みたいなものでも、臺中在任三年もすると氣が荒くなる、環境がもし人の性格をつくるのだつたら惡しき記者なんかも一環境の最大宣傳者かもしれない

そこで臺中の偉い人たちが、これぢや不可い、もつと朗かに、くつろいでざつくばらんに懇親會でいかうぢやないか、といふことでお互ひ一緒になつて宴會も行はれたのだから今もつて、チヤ〳〵ガヤ〳〵の宴會騷ぎの域を脱しない官民同座は[illegible]藝者を侍らせても野暮合同でものつけから藝無しなんていふわけで昭和十年も忘れて了ふしあげましてお目出度う！とも言へた義理ぢやない

そこで考へたのが新春早々何か目出度いものにちなんで官民一致、お臍が宿がへりしさうな、わアッと笑はす趣向はないものかと頭腦をひねつた揚句が、つまり茲に記すところの「名士かくし藝大會」である

×　×

由來「かくし」の字のつくやつに、ロクなものはない。隱忍、隱居、かくし女、かくしごころ、かくれ蓑、かくれ遊、ちよつと數へただけでもこれ然伝だが「かくし藝」に至つてはひとり明朗愉快他の「かくし」と趣を異にしてゐる。從つて「かくし藝」なんどといつても一向かくし切らうといふ意見がない。宴會でもあると早く俺の番とならんかなアーと尻をムヅ〳〵させる大家が多いのである。「かくし藝」なンぞと、日本人らしい謙遜の美德を發揮しながらその實、オレがオレがである點、とても可愛いいシロモノではある

×　×

「かくし藝」と云へるかどうか疑問であるが大守日下辰太君の藝は素人の域を脱してゐる、西洲仕込のヲドリに至つては上は大石藏之助から下チンドン屋に至るまでおしなべて可ならざるなき妙味ある「寂さび」は天下一品、その昔少年官吏時代には、醉ふほどにアヤしげな臉つきで英語のラブ・ソングなどを唄つたものであるが、今お許しも得されもせぬ城代家老に出世した、唄もイキなところでチクオン器仕込の長唄をやる「老松みどり」のなンとかで、[illegible]唄よりもその方が愛嬌があつていいといふ評判である

次席家老の細井君、謹嚴なる陽明學徒であるが、酒を飲む以外に藝はないと仰言る。タマに高座にひき摺ゐられるが、調子外れの端唄が身上だ。かくし藝でなく藝なし、無藝組の發足、五百萬圓の支所を預かる部乘行榮、高橋地方も「子をつくる外、かくし藝なし」である。日下秘務、大越庶務、梅田文書等は日下大夫についてセッセと勉強中であるが前途遼遠、市尹黑田君も、藝なし組だが、この人の說には一藝の妻際あり、丹下左膳でもやれば藝し、にまり笑だらう。法院側ではなんといつても宮入の域にあるのに石衛執任官長、その弟太夫に至つては天下の三藝、堀方院長に未だその三藝に接せず、[illegible]元老吉原宛本會議君の「コラノ〜言はれ」の警句がある「コラノ、言ばれ」と[illegible]

[illegible]しく、松岡、白勢兩長老に至つては寡聞にしてかくし藝をしらぬ、新聞人の長老中島五月子は、あのベン〳〵たる腹を利用した盆踊りは天來の逸品、新進どころでは入佐君の浪花節。—お前もやつぱり人の子ぢやー—も首謡りとなつて、この頃は變つた勇壯な「西郷隆盛語せる男」なンて、小唄を歌つてゐる。辻君は、同じ醫者仲間の吉、長岡君らと正式にお師匠さんについて隱し藝修業中で端唄長唄に古典舞踊、何でも御座れだ。近頃の掘り出しものに醫院の山口君がある、赤い着物を着て舞を逆さに義太夫をやるかそのワイセツ味が眞に迫つてゐる

×　×

[illegible]

恭賀新年

登錄　商標

羽獅子印・各種印刷用インキ・印刷材料・印刷機械

東洋インキ製造株式會社

顏料染料藥品類

東洋化學工業株式會社

東京市京橋區京橋二丁目六番地

出張所　大阪・上海

臺灣代理店　臺灣日日新報社商事課

世の關心は漸次南へ
南方經營に現はれた三機關
その貢獻に大いに期待したい

臺灣銀行副總理　**有田勉三郎**

領臺以來、歷代總督を始め、本島の官民は南支南洋を以て、恰も本島の責任區域であると考へ、本島を帝國南進策の礎石とする方針の下に種々の施設をせられて來たことは今更申すまでもない。翻へつて之を

經濟的方面 より見れば、本島と南支南洋とは地理的の位置から見ても、又共に農業經濟時代に屬して居た關係上、經濟上の交涉は、比較的に稀薄であつて、此の點頗る遺憾に感じて居た所である。然るに昨秋、總督府に於て、熱帶產業調査會が開かれ、此の方面に對する今後の諸施設を如何にすべきかにつき

朝野有識者 を一堂に會して、研究調査を遂げられ、其の中には、官民協力の下に臺灣拓殖會社を設立し、之をして此の方面に對する經濟的活動遂行の衝に當らしめらるることを議決せられて居る由で、誠に時宜に適したことと信ずるのであります元來此の方面に對する金融機關としては臺灣銀行あり、又華南銀行は專ら此の目的のために創設せられたものであるが、何れも海外に於ける投資、殊に

拓殖金融の ために必要なる資金關係其の他の準備を缺いて居るので、實際上活動の點が少くなかつた、幸に臺灣拓殖會社が設立せられ、此の方面に活躍する事となれば、茲に吾人の多年要望して居た機關が出來るわけで國家のために至ごく慶びとする所である。聞く所によれば最近滿鐵を中心として興中公司が創立せられ專ら支那殊に南支方面の

經濟的開發 に當らんとし又拓務省、南洋廳等の主唱の下に南洋拓殖會社が計畫せられ專ら所謂裏南洋地方の產業開發に當らんとして居る趣である、本島に臺灣拓殖會社が出來れば、ここに南方經營を目的とする三つの新機關が殆ど時を同じうして創立せらるるわけで、これ等の新機關が何れも健全なる發展を遂げ充分なる貢獻をなすに至らんことを邦家の爲め祈つてやまないものである

本年の臺灣經濟界
依然好調を持せん

本島經濟界は年來生產物の躍進に依り、島民の生活は比較的安定して居るが昨年十月一日の國勢調査に依れば總人口五百二十一萬人を突破せる模樣で、一年平均十一萬人の增加、其の增加比率は二七・〇二人で內地の一四・二人に比し遙に高く早晚本島に於ても人口問題が重大となるは必至の事であらう夫れが對策の一端として土地開設を目的とする臺灣拓殖會社の設立が、本島特產の增殖に依る

◇…**臺灣** の工業化が漸次提唱せられて來たので之が原動力として發電開發、發電工事の擴張既に大に計劃せられて居るのは眞に心強く感ぜらるる次第である。又本年の本島貿易は昨年の狀態より推して今後一般財界の好調如何に依りては總額六億圓を突破するものと豫測される。又總督府昭和十一年度の豫算は昨年度に比して約二千百萬圓の增加を示し新規事業要求額は二千萬圓に達して居る、本島主要農產物たる米も本年度は更に二、三十萬石の增加、砂糖も六十四萬擔の增加を見越され、此の調子で進むと臺灣銀行券も亦昨年より最高發行高は約一千萬圓の增加を想像するに難くないと思はる

◇…**本島** 金融界に就ては從來通念とせられた植民地に對する投資不安が非常に減じて居り、のみならず更に一般に低金利となる可き趨勢であるから島內金利は內地金利へ一層接近をなすべきで私共は微力ながら此の點に就て大に力を盡して居る次第である臺灣は內地に比し農村は一般に富裕であり物資も潤澤で統治政策の根本方針が大衆の福利增進を圖られる點より見農民を大衆とする島民の幸福を如實に表徵して居ると思ふのである。

尚は茲に一言し度いことは臺灣は今尚農業立國を目とせる產業時代を脫せず、農業を基調とせざる工業臺灣の建設は將來大に努力を要する土地柄であるが故に其の計畫又は經營の如きは細密の研究調査に依り愼重に遂行せられねばならない、島內各銀行の最近の貸出金を見ても農業金融約一億二千萬圓、工業金融二千五百萬圓、商業金融が七千萬圓となつてゐる、然し各銀行一般に預金增加は貸出の增加に比して大であり農產物加工業以外の工業に對しても例へば水力發電工業施設、油田の開發、天然瓦斯利用或は「アルミニユーム」合金等製造工業等に對し金融をなす餘力を持つて居るので事業が國益を增す合理的企業であるは今後も積極的金融に進み度いと思つてゐる

不動產金融は現在の所主として勸業銀行並本行に於て約一億圓取扱はれ其他の銀行及び農村信用組合の活動に依り一般に金融は行き亙つて居るが、島內未開墾地開拓や南支南洋開拓の爲めの開拓事業並南支南洋に於ける拓殖金融を營まんとする臺灣拓殖會社が近々設立せらるる由であり商業方面に對しては從來仕入資金の擔保として不動產が多く、有價證券を擔保とする事は困難な現狀であつて之が低利金融を圖る爲めには島內諸會社株式等の市場性をつけて其の株價を高め、努々公債、內地諸會社株式等への投資を容易ならしめる爲め一段の工夫を要するかと思ふ

以上本島經濟今後の大勢を述べたが內地、臺灣ともに財界の好轉を推測すべき所謂材料は可成り多いと思ふ

然し前途には支那特殊問題、北支那自治問題、滿洲國境問題、倫敦軍縮會議の經過、佛國四政局不安と金離脫、米國大統領改選期接近と經濟政策の變更等々對外關係に諸種の不安材料があり、又國內的にも幾多問題諸商品の生產過剩等考へすべき問題が多くならう、之等の作用如何に從つては本年景氣の推移には多少の波瀾はあらうが經濟界全般の景氣が著く惡化しようとは思はれない（保田副頭取談）

臺灣經濟界の展望

臺銀副頭取　**古賀三千人**

昨年は四月に於て臺中、新竹兩州下に震災があり、五、六月中は連日の降雨で地方に依つては米又は蔬菜の不作があつたり、金況は前年ほどの活氣がなくて終始したなど、部分的には相當に不評、不振なこともあるにはあつたが、綜合的には一般農作物の出來榮え良く就中、米糖の二大物產が全年を通して高値を持續したことは大多數の農民をして頗る懷を暖かにせしめた、農產物價の外氣候もよく、金融も極めてよく、從來休止狀態であつた製糖工業は復活の烽を揭げるし、芳醇のテックス工業は工場數も增して繁忙を極めて居る

以上の如く各種產業の景況は勢ひ購買力の增進となり、一般商品の賣行が近年稀に見る活況であつたのは勿論の事で、又始政四十周年記念博覽會が大成功裡に幕を閉ぢたことも好景氣の反映に外ならぬのである

更に之等の好況を最も明白に物語る所の輸移出入貿易計數に就て見ると先月中旬の豫想で總額六億圓に達する見込である、即ち前年より約八千萬圓の增進で當に歡天喜地の好景氣と言ふべしである

然らば 本年の景氣は如何と言ふに最近數年來の傾向で對岸向輸出は既に大減退し當分恢復を見せらる以外には寧ろ却つて前期の悲觀材料も見當らない、本年に入りても低金利は一層普遍化するであらうし、懸案多年の北支問題が近く解決して同地が全く安定するに至らば直接間接に本島にも好影響を齎すであらうし、かたく意外の異變が發生しない限り各種產業其他各方面とも好況を持續し更に一段に躍進臺灣の繁榮を示すことと考へられる、然しながら更に深く反省しなければならぬは

米價高 が本島好景氣の最大原因となつて居ることである、米價高は內地不作の結果であることはいふ迄もない、ことに連年の不作に泣いて居る東北地方の慘狀に想到すると本島の好景氣はあまりに勿體なくて恐縮に堪へない[illegible]又今日の好景氣がいつ迄續くかは何人も之を的確に豫斷することは出來ぬ、米國の銀政策變更に依る各國財界の動搖とインフレ反動來の豫想必至であることは、ただ時の問題を殘すのみである、即ち之に備ふるは

吾人の 共同努力で協力一致を必要とするのであるから各人ともに苟くも目前の事に惑ふるを戒め、いやが上にも內容を充實して假令如何なる反動が來ても動搖だにもせぬやう不斷の用意が肝要であると思ふ

圍碁は
上達し易い
新研究法の發表

圍碁は將棋や五目並べより確しいやうに見えて却つて樂な易いものであるから子供でも本筋道を習へば初段位にはスグなれるが、素人同志で無法に打つては趣味もなく上達するものでもない

東京 阿佐ヶ谷五二一四番地圍碁研究會で今回發賣した七段加藤信先生校訂圍碁口授書は圍碁の要定石と先定石と其の變化二百餘手を一手一手につき直接先生が手を取り口傳する通り解りよく覺え易く必得まで詳說してある

定石 をスッカリ習へば「鬼に金棒」で碁が強くなる實格が充分出來たのである、その上に井目八目七目六目五目四目三目二目相先の必勝の打ち方戰術が新派的に分で詳說してあるから初心者でも

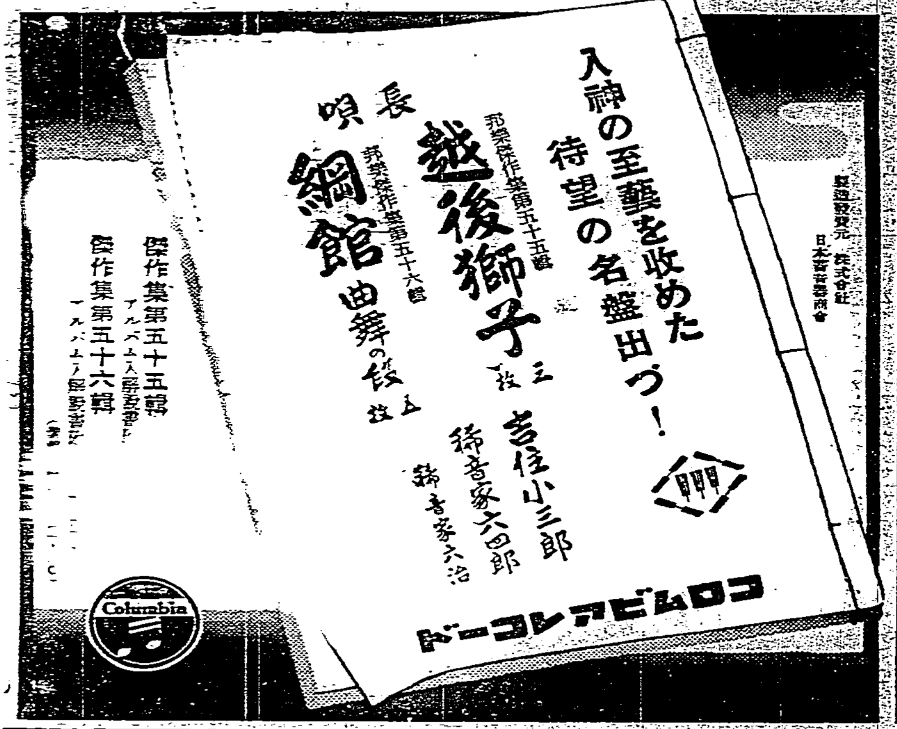
本筋 の此本につき研究されるなら一箇月を出ずして初段以上の實力を獲得されるのである

尚この外、名人大家の實戰解說詰碁、大斜、長生、鐵眼活、天元、二三、三連星、四角星等圍碁のありとあらゆる方面を網羅してあり、一部（參冊）參百餘頁の

大冊 であるが今回新會員五百名限り實費壹圓七十錢に分讓する由且二千號記念に郵便券器一組及び質問券を無代添呈する筈なれば希望者は振替東京二一四三三番へ送料拾錢を加へて拂込むか又はハガキで申込めば代金引換郵便送料實費で送る

玉突台
世界的選手
東京市芝區田村町
鈴木龜吉商店
御照カタログ贈呈
只今特賣中

●神經衰弱に**はれやか**●



入神の至藝を收めた
待望の名盤出づ！

長唄
邦樂傑作集第五十五輯
越後獅子 三枚
邦樂傑作集第五十六輯
綱館 曲舞の段 五枚
吉住小三郎
稀音家六四郎
稀音家六治

傑作集第五十五輯 アルバム入解說書付
傑作集第五十六輯 アルバム入解說書付

コロムビアレコード

製造發賣元 株式會社 日本蓄音器商會

HIS MASTER'S VOICE

お正月向のレコード案内

ビクター

流行歌	
スキーは招く	藤山一郎
祖國よさらば	小野巡
ダイナ	岸井明
濡れ島田	市丸
お伊勢參り	小唄勝太郎
星のふるさと	大宮小夜子
娘と雲助	德山璉・能勢妙子
渚の別れ	大宮小夜子
（一枚一円半）	

浪花節	
勸進帳	吉田奈良丸
河內山宗俊	木村友衞
吉田御殿	壽々木米若
召集令	壽々木米若
鹽原多助	木村友衞
夕立勘五郎	壽々木米若
乃木將軍と辻占賣	梅原秀夫
戀の坂崎出羽守	吉田奈良丸
小金井小次郎	木村友衞
（一枚一円）	

通俗洋樂	
シューベルト名曲集	トム・ジョーンズと其管絃團
スラヴ行進曲	キエテイ吹奏團
懷しき維納の思ひ出	アルフレッドと其管絃團
アヴェ・マリア（シューベルト）	フレデリック三重奏團
滿洲の曠野にて	バイカル・バラライカ管絃團
菩提樹（シューベルト）	コメディアン・ハーモニスト
トップハット	ノーブルと其管絃團

ビクターレコードには特殊のお望みの音樂が悉く吹込まれてゐます、是非御一覽の上最寄りのビクター特約店でお求め下さい。

A—50

阪急の初荷通信賣出し

防寒手袋

九日ヨリ—十七日マデ
萬一品切の節は御容赦願ひ上げます

特價奉仕

紳士用	キッド皮製	一、五〇円	二、〇〇	三、〇〇
	毛糸製	〇、三〇	〇、五〇	一、〇〇
	カシミヤ製	〇、五〇	〇、七〇	一、〇〇
御婦人用	キッド皮製	三、〇〇円	五、〇〇	七、〇〇
	毛糸製	〇、三〇	〇、五〇	一、〇〇
	カシミヤ製	〇、五〇	〇、七〇	一、〇〇
御子達用	毛糸製	〇、一〇円	〇、二〇	〇、三〇
	カシミヤ製	〇、五〇	〇、七〇	一、〇〇

以上御用命の節は、サイズ（指の長さ、太さ手の幅）及び御好み、御年頃御書き添え願ひ上げます
送料……〇、四二

特價 防寒足袋各種

純毛足袋

指付	九文—十一文	〇、四五円	〇、五〇	〇、七〇
指無	九文—十一文	〇、八〇		
御子達用 指無	五才—十才	〇、四五		

（以上色合、黒、茶、鼠、ラクダ）

メリヤス保溫足袋 二足組

御婦人用	九文—十文	〇、三五円	〇、五〇
殿方用	九文半—十一文	〇、五〇	
御子達用	七文—八文半	〇、四〇	

（ラクダ、グリーン、エビ茶）

冬足袋 二足組

御子達用豆別珍	五文半—六文半	〇、三〇円		
御子達用別珍	七文—八文半	〇、四〇		
御婦人用別珍	八、七文—九文半	〇、五〇円	〇、五五	
殿方用黒別珍	九、七文—十一文	〇、六五		
黒 朱子	九文半—十一文	〇、五〇	〇、六五	
白キャラコ	八、七文—十一文	〇、四〇	〇、五〇	〇、六五

（右二點色合ハ黒、エビ茶、洗柴）
以上御用命の節は、御年頃、文數等御書き添え願ひ上げます
送料……〇、四二

優良肌衣類

紳士用

純毛メリヤスシャツ（又はズボン下）	並判	一、五〇円	二、〇〇	二、五〇
	大判	一、八〇	二、三〇	二、八〇
	送料	〇、四九		
純毛 腹卷	並判	一、〇〇円	一、三〇	一、五〇
	大判	一、二〇	一、五〇	一、七〇
純毛サルマタ	並判	一、〇〇		
	大判	一、二〇		
	送料	〇、四二		

御婦人用

起毛スムースシミーズ（約二、六尺 二、八尺 三、〇尺）	白	〇、六〇円
送料		〇、四九
起毛スムースアンダーシャツ	特價	〇、六〇
起毛スムースブレスター	特價	〇、六〇

（右二點共 白 約八〇糎 約八五糎）

御子達用

コンビネーション 三才—十四才	毛糸 赤、茶	二、〇〇円
	起毛スムース 白	〇、五〇
綿甲絲アンダーシャツ 七才—十六才		〇、五〇
送料		〇、四二

ジャンパー特賣

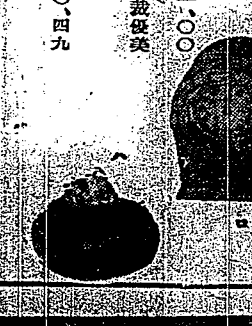
スポーツに、御外出に、活動の輕快至便なジャンパーの特別提供……

上衣	ブロック製（コール天襟の生地）折衿	一、五〇円
上衣	ブロック製ヒーロー型（衿元ゴム糸入）寸法 約三八吋 四〇吋	一、九〇円
←ズボン	（ブロック製）	一、五〇

以上色合 鼠、紺
送料……〇、四九

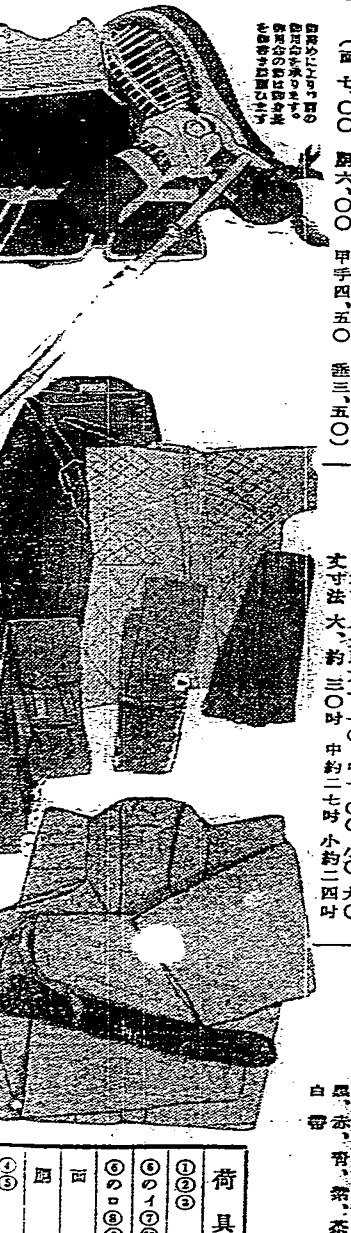
新年から貯蓄を

イ、インデアン型貯金器 〇、九〇
ロ、愛國豆貴貯金器 一、五〇
ハ、金庫付貯金器 一、〇〇
何れもアンチ製の堅牢優美な品……
送料……〇、四九



劍道具と柔道衣賣出し

非常時日本の最難關、一九三六年を迎ふるに當つて、日本精神の涵養に或ひは心身の鍛磨に、傳統のスポーツ柔劍道が益々旺盛を極めて參ります御用意萬端は何卒弊店へ御申し附け願ひ上げます。



劍道具

①黒塗胴付一揃……三四、〇〇円（面一〇、〇〇 胴一二、〇〇 甲手七、五〇 垂四、五〇）
②革胴付一揃……二一、〇〇（面七、〇〇 胴六、〇〇 甲手四、五〇 垂三、五〇）
③竹胴付一揃（少年用）……一〇、〇〇（面、胴、甲手、垂）
④竹刀（鍔付） 中太（約三尺九寸）特製 一、六〇
　約三尺八寸 一、〇〇 〇、八五 〇、八〇
　約三尺六寸 〇、九〇 〇、八〇 〇、七五
⑤木刀 白樫 一、二〇 赤樫 一、四〇 枇杷 三、〇〇
⑥竹刀袋 イ、菖蒲木綿製 二本入 一、〇〇 三本入 一、五〇
　ロ、菖蒲ズック製 二本入 二、四〇
⑦劍道衣 正紺 四分刺 大三、五〇 同 絣刺 大三、五〇
　黒木綿八分刺 大 一、六〇
　白木面 八分刺大一、一〇 中一、〇〇 小〇、九〇
　丈寸法 大、約三〇吋 中約二七吋 小約二四吋

柔道衣

⑧袴 黒木綿大一、九〇 中一、八〇 小一、七〇（大約二尺一寸より中約一尺九寸より小約一尺七寸より）
⑨道具袋 菖蒲ズック製三、〇〇 茶ズック製二、〇〇
⑩胴衣 手刺特大 六、五〇 大五、五〇
　綾刺特大 二、四〇 中二、二〇 小二、〇〇
　丈寸法特大約三六吋大約三三吋中約三〇吋小約二七吋
⑪パンツ（股） 綾刺特大〇、九〇 大〇、七〇 中〇、六〇 小〇、五〇
　丈寸法特大約三二吋大約三〇吋中約二六吋小約二三吋
⑫帶 八王子上黒帶 〇、八〇
　黒、赤、青、紫、茶 〇、四〇
　白帶 〇、三〇

荷具	發送料
①②③	一、四三
⑥のイ⑦⑪⑫	〇、四二
⑥のロ⑧⑨⑩	〇、四九
面	一、〇七
胴	一、三一
④⑤	約一圓

御注文に就いて

書留[illegible]鐵道便、船便の代金引換[illegible]
書信の代金引換料金は五錢增で御座います[illegible]

大阪梅田
阪急百貨店
通信販賣係
振替口座大阪八〇九
（阪神急行電鐵株式會社直營）

年頭發願

宿痾—慢性胃腸病快癒まで左記條々嚴守の事

一常に胃の負擔を輕くし暴飲暴食を愼む事

一食物を充分咀嚼し、固い物と液體を同時に攝らぬ事

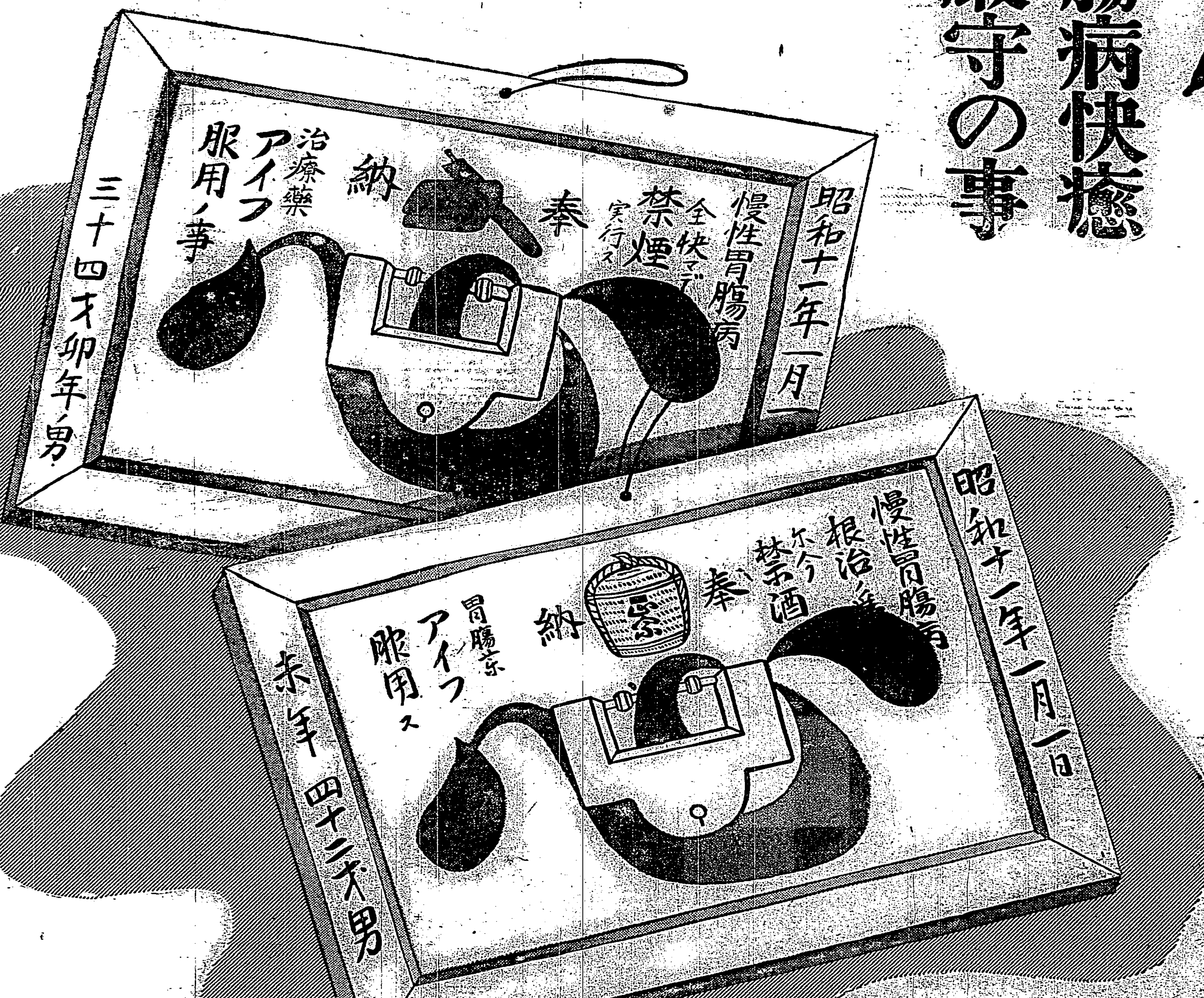
一不消化物及過熱過冷の飲食物を攝らぬ事

一酒、煙草、茶、コーヒー、香味料等を禁じる事

一食後三十分乃至一時間右下にして横臥する事

一腹部に腹卷を締め、朝夕は胃部へ溫濕布を施す事

一治療藥**アイフ**を服用する事

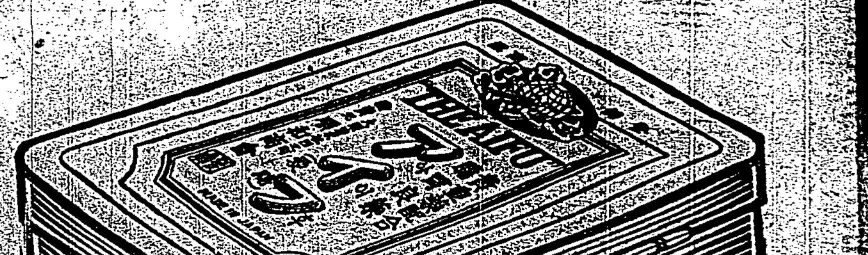

昭和十一年一月
慢性胃腸病
全快マデ
禁煙
實行ス
奉納
治療藥
アイフ
服用ノ事
三十四才卯年男
昭和十一年一月一日
慢性胃腸病
根治ノ爲
今ヨリ
禁酒
奉納
胃腸藥
アイフ
服用ス
未年　四十二才男

藥價

胃と腸の兩病には**アイフ**（粉末）
三服入　二十錢　十七日分　三圓
四日分　七十五錢　四十五日分　七圓
八日分　一圓五十錢　特製[illegible]日分　五圓

胃病專門には**健胃アイフ**（錠劑）
七十五錠入　五十錢　三百四十錠入　二圓
百六十錠入　一圓　千錠入　五圓

▼全國到る所の有名藥店にあり▲



慢性胃腸病にはアイフ

大阪市東區淸水谷西之町
發賣本舗　**順和商會**
振替大阪三四五番　電話（東）五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三番

東京　東京市本郷區眞砂町九番地
振替東京六二八八番　電話（小石川）四〇一〇番

大連　大連市山縣通一丁目
振替大連三七六五番　電話七六〇八番

女人出征（下）

良妻賢母の殼を破つて 戰線へ突進する

支那の女兵士、獨逸のスパイ 日本婦人顔色なし

支那の兵隊は餘りに弱い—これは世界の定評だが、最近の支那を見るとその軍備、國民の軍事的知識は侮るべからざるものがある恐らく日本婦人よりは遙に進歩してゐる支那婦人だけあつて、國民革命の時、蔣介石所屬の女軍は約四百名、黑髮を惜げもなく切り捨て五分刈頭に軍帽を戴いて、短かいスカートにケラチといふ凡そシックな婦人兵だつた これが國民黨部の婦人部に屬して到る處で殊勳の功を樹てたから面白い

有名な話では、先ごろ父の仇と狙はれ一婦人のピストルで斃れた孫傳芳が、軍閥首と對峙してゐた頃、孫軍第七混成旅團長の揚振東が總師孫傳芳の命を受け、江西省の西北端の要りで守備して居つた、革命軍の一斬新戰を不意に受けて脆くも全滅してしまつたが、これには女兵達が十八番の三段戰術で敵兵をおびき寄せ伏兵による一擧殲滅の時の奇計に出たからだつた

さて現在はどうか、漢口には孫文の未亡人宋慶齡が創設した國民黨婦女訓練所があり、多數の婦人がここで科學的軍事教練を受けてゐる、國民軍の背後に、又は軍中にあつて宣傳勤務に從ふ—といふわけでその主旨だ、女學生では軍教が正課目の一つになつてゐるし、飛行の操縦もさせてゐる、そして彼女達も出でては兩國の爲に、武器を手にとり戰陣に立つといふ意氣に燃えてゐるといふ—

支那には又、到る處女子共產黨が組織されてゐるがこれも軍隊的だ、最近の話だが共產女子青年團長何實秀といふ女が紀正に二十二歲の一女性が捕へられた、即ち女史の告白によると—十六歲以上二十二歲までの女子は全て私の團員である、團員は毎月兵式教練を施行し、妊娠した女性は團員より除外する、又團員たるものは恐怖、羞恥心を持つてはならぬ、會戰に出陣しないものはズローズを脫がせる、出征の場合はその父親が誰であるか判明し難い時自ら好む男子を指摘しその子を與へてやる—といふ鐵則があつた

×

世界大戰前、ドイツの女性は家庭に籠る女性の典型として平和的にあつたが、大戰となると、果然これ等の良妻賢母型が家庭から街頭へ、街頭から戰地へ奔流させた

英國婦人も佛蘭西婦人も同樣だつた、男子に代る女巡査、女消防手、通信從業員、その他各種の雜役が一緒になつて彼女達のか弱い腕にのしかかつて來た

特にドイツ婦人は最後まで食糧、石炭、新聞の配達運搬、煙突掃除、汽車、自動車の運轉、掃除に至るまでやらねばならなかつた 戰時婦も十歲から志願し軍需品工場には七十萬の女工が無給で從業した 英國でも志願女工が四十萬からあつた、戰爭が酣になるにつれて英國では婦人補助軍隊が出來ドイツ婦人は准軍隊として占領地兵站地の酒保、文書の往復、書記助手、小使、傳令、軍需運搬、敵兵摘工作等に凡萬の女性が血みどろになつて働いた、男子に代つて要塞を守備した女性や、戰爭後に乘じて敵陣を襲つたり、愛人と共に戰死した勇敢な女性もあつた

現在は歐洲大戰の悲壯な經驗によつて極度に戰爭を忌避してゐるが、多くの男性を失つたことは最大の苦痛に違ひない。併しそれだけに彼女達の軍事的關心は凡そ熾列なものがあるといつてよからう

×

戰爭と女とスパイ—これは丁度オリオン座の三つ星の樣に相つらなるものである

女性の魅力が生む魔術的な效果が探偵物語風に戰爭綺譚の數を彩るのだ、獨、佛、露の各國共女スパイを採用した、英國では、女性は忍耐力及持久力に乏しいこと、輕率であること、感情的であること等の理由から女間諜の使用を斷念した

大戰中最も巧妙であつたのはドイツの女スパイで『レッド・タイガー』『マタ・ハリ』は餘りにも有名であらう、レッド・タイガーはあらゆる男性を足下に跪坐せしめるほどの美人であつた、マタ・ハリといふ女スパイは、ベルリンの『ウインター・ガーデン』座に得意のインド踊りを演してゐた美しい踊り子だつたが、ドイツの秘密情報局に召集され、三百萬マルクの巨額の費を投ぜられてパリ行きを命じられた、この敵國の首都を舞臺に豪奢な生活と媚態の限りを盡してフランスの大官を籠絡にかかつたのであつた、彼女から得た諜報はドイツ潛水艦の恐るべき活躍に役立つたといはれてゐる

「ボリアピアヒム」員の婦人斥候

一年に 四つの正月

年齡を知らぬ爪哇人

在バタビヤ 本社特派員 齋藤正雄

一年を通じて光と熱に惠まれた爪哇には、本來暦日無しと云ふも可である。その爪哇には爪哇人の大部分は自分の年齡を知らない。試みに、爪哇人に年齡を尋ねて見よ、答へは『概ね二十歲位でせう』である、この意味で、爪哇人の大部分は歲を忘れた浦島太郎であり又浦島太郎の龍宮は、何處か、暦月無き南洋の島を示唆してゐるものと思へる。

ところが、暦月の無い爪哇に四つの正月があるのも一つの稀觀だと云へる。四つの正月があると云ふのは、四つの異なる暦が使用されてゐると云ふことであつて、太陽暦、太陰暦、回々敎暦、猶太敎暦がそれである。此內太陽暦のことは說明するまでもないが、太陰暦の元旦（一月二十四日）は蘭領印度に住む百二十數萬の支那人の正月であり、回々敎暦の元旦（三月二十四日）は爪哇人の正月、九月十七日が猶太敎徒の正月である。

本社特派員 齋藤正雄氏

此外に英領印度人の印度敎徒も獨特の正月を祝ふのである。

然し西洋人がクリスマスを重視して、元旦の日を案外冷淡視するのと同樣に、爪哇人も元旦の月はひつそりしてゐるが回々敎暦の九月の斷食期が明けた十月一日には一年中で最大の祭典を行ふのである、從つて此十月一日が俗に（爪哇正月）と云はれてゐる。

此爪哇正月の經濟的意義は頗る大きい、爪哇人は財布の底をはたいて、正月のために衣服裝身具の用意をする、正月の用意のために一ケ月分乃至二ケ月分の月給の前借をすることは、爪哇人の常識となつてゐる。從つて輸入商にしろ小賣商にしろ、此爪哇正月目當の商賣が一年を通して最も活氣を呈する時期である。而も晦越しの金を使はない點で、爪哇人は江戸ッ子の風俗を備へてゐるので、大晦日の晩には支那人と同樣に、惜氣なく花火を揚げ爆竹を鳴らすのである。蘭領印度に於ける正月用の花火の輸入額は、好景氣の當時には三百萬ギルダーに上つたが、近年は不況のために六十萬ギルダー程に減じてゐる。除夜の花火を揚げ爆竹を鳴らす風習は、支那人の影響であつて、近年は西洋人までが、此影響を受けて年越しの爆竹を鳴らしてゐる。

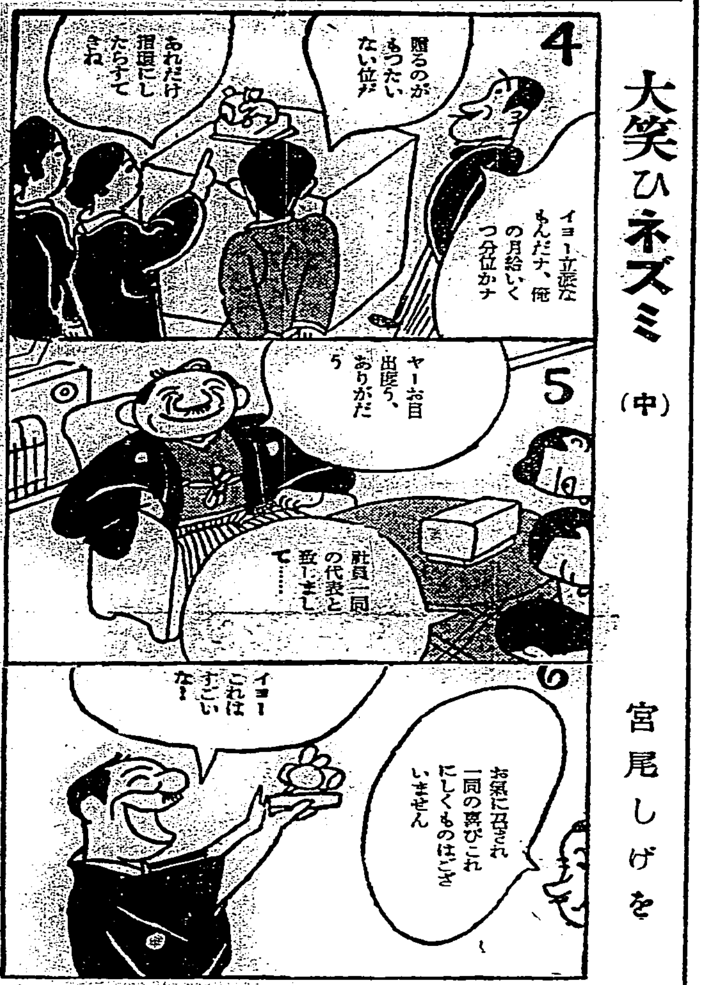
爪哇在留邦人約四千の元旦は何うかと云ふと、帝國領事館のある地では領事館に於て、又領事館の無い地では日本人會館において、在留邦人の拜賀式と名刺交換會が催される。家によつては、椰子の葉と竹とを束ねた門松を樹て心ばかりの正月の上すがたとする。

近年は經濟餅が出來たので、雜煮餅の不自由は感じないが、數の子、黑豆を置け、アイスウオーターを備へた食卓の雜煮餅では、なかなか祖國の正月氣分は出て來ない。この元旦の氣分は獨り我々のみで無く、西洋人も、雪の無い綠林の御堂では、クリスマスの眞の氣分が出ないと嘆を同じくしてゐる。

然し距離的に、國家の第一線に嚴きつつある在外邦人は、海外異鄉に迎へる正月を、望郷の感に胸打ち掛けて迎へる正月と心得、唯日の丸の國旗の下に啜る雜煮こそ、正月の唯一の意義と感じてゐるのである

大笑ひネズミ（中）

宮尾しげを



4
贈るのがもつたいない位だ
あれだけ指環にしたらすてきね
イョー立派なもんだナ、俺の月給いくつ分位かナ
5
ヤーお目出度う、ありがたう
社員一同の代表と致しまして……
6
イョーこれはすごいな！
お氣に召され一同の喜びこれにしくものはございません

歷史のユウモア（上）

新春の笑ひ

生方敏郎

歷史は祖先の間に起つた事件、祖先の事蹟の記錄であるが、之を記錄するに當つて、矢張り平坦な日常生活は記者の眼に平凡に映し政權の爭奪や兵亂天災疫病の如きものは、異常にセンセーションを起すので、之を記錄するに方つて日常生活の平凡を避け、センセーショナルな方面のみを自然と選ぶことに成りがちだ。—

夫れ故、歷史に記されてあることは人々の緊張した場面、泣いたり怒つたり爭ひたり戰つたり、陰謀を企んだりしてゐる時の方のみが多く、遊んだり笑つたりしてゐる場面を記錄したものは稀だ。悲劇は史書を繙けば至るところにあるが、喜劇を發見することは至つて困難だ。

併し、悲劇的資料が多く書かれてあるから、昔は悲劇が多かつたと思ふのは早計で、事實はむしろ其反對に、悲劇の數が少なければこそ、史家は珍らしがつて之を記し、喜劇的場面の方は割合に澤山あつたから、却つて之を閑却したものと見るのが妥當だらう。夫れ故誇張した悲劇的事件も、見方に依つては其裏面に多く笑ふべく樂しむべき事情を多く含んでゐる。

○

佛敎が渡來した時、政府は其拾捨に關し、議論が二つに分れて互ひに相爭つた。保守派の物部ノ尾輿及び其子守屋と 進取派の蘇我ノ馬子及び其子蝦夷と相軋轢し、終に流血の慘を見るに至つた。此方面からすれば佛敎渡來は眞に悲劇だつたに相違ない。

併し、人々があの金ピカの佛像を見て奈何に驚いたか、又誦經の[illegible]、[illegible]の手が六本もある愛染明王などいふ怪物を見た時、人々が如何に恐れおののいたか、其處には種々の喜劇があつたらう。

更に奈良朝時代に入り、政府で旺んに寺院を建て、僧尼を澤山得度した時、奈何に變テコな坊主や尼が澤山出來上つたか、又當時食窮して土地を失ひ鄕黨を流離した所謂浪人—浪人といふ言葉は其頃に出來た—どもが、僧尼になつて漸く衣食にありつき何はともあれ生活の方法として佛門に入つた滑稽さを思へば、之また笑はずにはゐられない。

○

物々交換より他を知らなかつた當時、支那から初めて金錢が渡來し、又日本でも和銅開珍の如き穴明錢を造り出したが、人々は之を通用する習慣を持たず、その或者は之を珍重して小兒が玩具を貰つたやうに悅び、之を貯へて使用せず、又或者は品物の代價として錢を渡されても、狐疑して手にだも取らず、世は何時までしても物々交換の他に出でなかつたので、政府は止むを得ず一年間に[illegible]の錢を使用した者には六位の位を授ける事とし、又一年間に錢十の錢を受取つた者にも、矢張り位を授けると云ふやうな、滑稽極まる法律を發布した。

○

[illegible]

珍らしい器具や物品を携へて來た、面白い土產談も澤山あつたに相違ない。人々は洋行歸りの官吏や坊さんの周圍を取り圍んで、いつ迄もいつ迄も唐土の話に耳を傾けたであらう。そして笑ひ興じたことだらう。

○

梅も其頃支那から來た。竹も大方其頃移植されたものだらう。金（Kin）が（Kane）に錢（Sen）がゼニ（Zeni）に日本的に訛つたやうに馬（Ma）がウマに梅（Mei）がウメに竹（Tiku）がタケ（Take）に貝（Bai）がカイ（Kai）になる迄には、それ等の品物が一般民衆化したことだらう。

梅は殊に高貴な枝ぶりから馥郁たる香氣から百花の魁をなして咲くところから大に當時の人々に愛好せられ、之を私庭に植た者、之が一枝でもかざし得た者は、いかに得々然として街道を濶歩したことか。

○

百敷の
大宮人は
暇あれや
うめをかざして
今日もくらしつ

とは、その頃の風俗を語る歌である。

○

藤原の鎌足公は、蘇我氏を討滅した皇室中興の功臣、智勇兼備の宰相として、その人格は千載の下に光輝を放つのであるが、此人は戀愛方面にかけても仲々お盛者で萬葉集には采女ヤスミコを多くの若殿原と競爭し、終に人々に打勝ち彼女を手に入れた時の歌がある

われはもや
ヤスミコ得たり
人みなの
得難てにすてふ
ヤスミコ得たり

鎌足公得意滿面の時の吟詠で、酒延之を聞いてはヤンヤと喝采したことであらう。英雄にも亦此樣な閑日月があるのである。

○

空海といふお坊さんが唐でしつかり修業して歸つて來たが、その頃旱天がつづいたので、佛に祈つて雨を降らせるといふので、壇を築き佛像に香華を備へ、ムニヤムニヤとお經を誦む。人々は今降るか今降るかと空を仰いで雲の供樂を眺めてゐる。

その中に、讀經が將に終らんとする頃、急に大粒な雨がバラバラと落ちて來た。見物人に傘の用意もなく、他所行きの一張羅を濡らすまいとして、群衆は驚天走りに我家へと逃げ歸る。

「かかとの、／＼　泥濘にまみれたこんだぞよ。又者さまがお祈りすると、本當に雨が降つて來をつた」

「それが何うしたといふのさ。一枚しか無い晴着を着て出て、雨にぬれる這バカな面をして坊主のお經をきいてる人があるかよ、その手間があつたら、もつと帯子びでも買つて來ればいいものを」

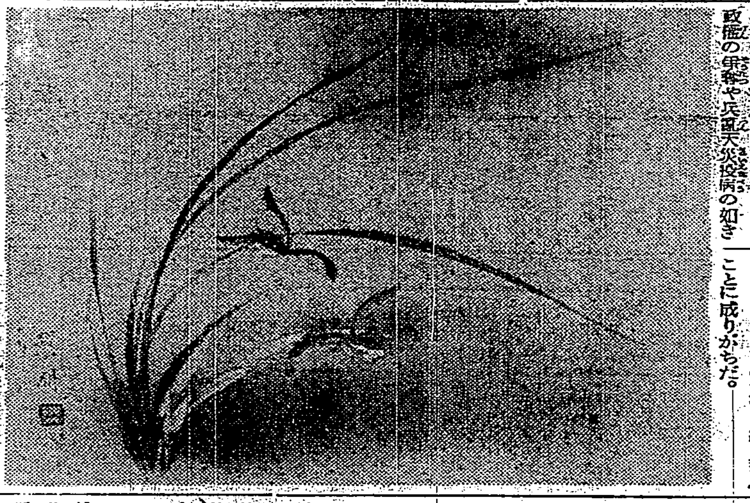
と女房に叱られた亭主も言つたであらう。

雪の夜

柳原燁子

窓に打つ吹雪の音をききながら泣きし昔の思出の夜や

それは日本の本州の南の國、それだのに深々と雪の多い年でありました、正月の年賀の人は一日二日の間にぽたぽたと來てしまふと、あとはもうまるで忘られた樣、山國の一つ家にもひとしいうら淋しさが、ひしひしと迫つてくるのでした、私は廣い應接間に、ストーブを焚いて、たつた一人でちろちろと燃える火を眺めてゐるのが好きでした、勿論時計はわざと針消してしまつて、室內は眞暗なのです。すると、いろんな幻覺が、次から次にと廻つてくるのでした、折柄窓の外はさんさんと雪が降つてゐました、この大雪ではいかに正月だとて往來の人も途絕えたであらう、もしやこの窓の外に行き惱む旅の人でもありはしないか、さうだつたら呼び入れてこの火にあたらせて上げたい、否々それだとて私は、此の家の何一つ自分の思ふに任かせてゐる身の上ではないそんなみずしらずの旅人を家へ入れたなら、あとでどんなに叱られるかしれない、さう思ふとその旅人が可哀想で、また心のままならないこの身が哀れで、いつそその見しらぬ旅の人と一しよにこの家を出てしまふ、そして行くへもしらぬさすらひの旅に——と、そんな思出を今思ふ時、おそろしく淋しいあの晩のこともあながち錯覺ばかりでは無かつた樣な氣がする



蘭　眞造黎明氏筆

迎春譜

吉井勇

われもまた虔心もちて東海の大き初日をおろがみまつる

○

うちひさす都大路を練るこころいとおほらかに春を迎へぬ

○

たたかはむ志さへ起るなり壯ごころもちて初日を仰げば

○

われいまだ死なじ天また我をさじと元朝の空を仰ぎけるかも

○

酒みづき一歌びとのわれもまた日出づる國の春をたたへむ

春はラヂオの波に乘つて（2）

放送麗人萬華鏡

大きな光芒を引いて 輝く天才ピアニストは？

器樂の部

洋樂でも、器樂の方にうつると流石に人材が乏しくなります、ピアノには小倉末子、ヴアイオリンには諏訪根自子などといふオソロシや大先輩は居るには居ますが、まさか要人の中間へ入れるわけにはゆきますまい、しかし小人數ながら、此處のエキスパートたちは、それぞれに大きな光芒をひいて輝いて居ます 日く原智惠子、井上園子、諏訪根自子—殊に後の二人は年少よりその聲望でたるを以て、かつては天才少女の名をほしいままにした人たちばかりです

× ×

[illegible]、井上、原の二人の中では年齡からいつても風格からいつても無論がお姉さん格、昭和二年東京音樂學校本科器樂科卒業、直ちに同校の助教授となり、ドイツに留學、ベルリン國立音樂學校にてクロイツアーに師事、昭和八年歸朝、現在も東京音樂學校助教授—といふのが、原智惠子の音樂的經歷です、彼女の技術に就いては各方面での評判は非常によろしい、評判のよしあしからはなれて考へても、日本の女流ピアニストとしては第一流、まさに東京音樂學校出のピカ一といふべきでせう 若し彼女の奧に就いて望むことが許されるならば—彼女の腕は、どう考へても華やかなステージ向きには出來て居ない、むしろ靜かに自宅の子守歌を唱るし、影の長い裳裾をひいて人氣ない僧院の廊下を歩く尼僧にふさはしいと考へるのは筆者だけであらうか

× ×

井上園子（ピアノ）

井上園子は大正四年生れの前田つ子、嚴父は井上眼科病院の院長さんです、ウイン國立音樂學校のピアノ科出身、その卒業に際しては[illegible]ディプロマを受領、更に一九三三年、ウインに開催された國際音樂コンクールでは、一等賞を獲得して、蒼い眼の彼氏彼女たちを唖然たらしめたといふ、まさに天才少女の名にふさはしきお孃さんです、彼女の先生は、トドロウイッチ、ワインガルテン、パウマー、ザウエルなどで、再度ウインに留學、一昨年九月に歸朝して以來樂壇を含め日本の好樂家たちから期待と注視の雨をあびて居ます、專門家にいはせると、彼女のピアノは非常におとなしいのださうです、恰も彼女の風貌から受ける第一印象がさうであるやうに、氏より育ちとか、古人はいいことを申しました、それにしても令孃井上園子よ、あなたのピアノが世のいはゆるお孃さま藝でないことは誰しもみとめるところだが、ねがはくに永遠にあなたの藝術を『令孃』若しくは『令夫人』の名によつて圧死せしめることなかれ！（要らぬ心配かもしれませんね）

×　×

[illegible]とともに、日本の三人の天才ピアニストの[illegible]と稱せられる[illegible]、やはり[illegible]生れとあるから[illegible]二十歲を一つすぎたところです、生れは神戶、一九三二年パリの國立音樂學院を卒業し、その際一等一席賞といふのを獲得したところ、井上園子と行き方が甚だ似てゐます、卒業の年十月二十一日に歸朝して、早速リサイタルを開きましたが、勿論專門家の註を驚かせるに充分な技術でした あちらでは、ミニピラ・ベルヌ、ラザルレビ、シャトネ—などに師事、只今三ケ[illegible]フランスに[illegible]

諏訪根自子（ヴアイオリン）

雅」があるとすれば、原智惠子には「才氣」がある、前者を「柔」とすれば後者は「剛」、いづれにしてもお賑かなことではありませんか

×　×

ヴアイオリンの諏訪根自子に就いては、既に紹介すべきものがみな紹介されたといふ感じ、要するに彼女の父と母との意見の衝突による、家庭的な悲劇までが、[illegible]

おけない、あどけないセーラー服に身をつつんでは居ても、風格はもはや堂々たる？ 職人のそれです、昭和二年十二月二十三日、すなはち彼女八歲の冬、樂壇にデビューして、先生の小野アンナ夫人ろのオエラカタをして、出藍のほまれありと唱ばしめた快腕、モギレフスキーをはじめ、もろもろの[illegible]がたたつて、[illegible]か腕の[illegible]にわづらはされながら、彼女はすくすくと伸びました

しかし、此の二三年は、彼女にとつて全く受難の年—それは彼女のあづかり知らぬものとはいへ、最も近い關係にあるところの彼女の父と母との深刻な紛爭です、彼女は、此の家庭爭議によつて大きな痛手をうけ、そのためずつと自宅に籠つて練習もはかばかしく出來なかつた始末、どうなることかと案じられたのですが最近、どうやら快復、身邊も落着いた樣子です

そして新春早々、[illegible]

我が世の春とはまさに一九三六年の諏訪根自子が口にすべき言葉—若き花の行く手よ、輝きにみちてあれ！

邦樂の部

此の邊で、方向をかへて、邦樂の方をのぞいて見ませうか、一口に邦樂といつても、小唄もあれば長唄もある、三味線もあれば琵琶もある、お琴もある、洋樂のやうにさうあつさりとは片づきません

そこでまづ小唄の部、小唄といへばあたかもその代名詞の如く思ひ浮かべられるものに勝太郎があります、小唄勝太郎といへば飛ぶ鳥も落さんばかりの昨今けふ—

小唄勝太郎（小唄）

[illegible]修業」とある、以て彼女の苦惱のほどが知られるわけです、しかし今ではとにかく大したもの、小唄勝太郎といへば誰しらぬ者なきまでに、彼女は己が地位を見事築きあげました、彼女、ある座談會で「一ばん嬉しかつた時は？」と人に聞かれ、答へて曰く「やつぱりあの時、つまり島の娘を吹きこんで、それが大あたりにあたつて第一回に二萬枚といふレコードをつくつたときだわ、文字どほりほつとしました、それまでの私は、全く一所懸命で、そしてひどく不安だつたのです、島の娘が賣れたので、あゝこれからはもう努力次第だ、さういふ一種の安心を得たのだ、今でも、おそらく死ぬまで、忘られない、うれしい／＼氣持……」全く「島の娘」は大當りで五十萬に近いレコードは捌けたさうといふ景氣のいい噂もある、最近の彼女は、長年の宿願叶つて三本一の檜舞臺、歌舞伎座に、これも三本一の名優羽左衛門を相手にまはし「藤娘」の一役を貰つて出て居ます、[illegible]

街に散る花（18）

竹田敏彦作　寺本忠雄畫　〔葵上映〕

追憶の十字架（九）

「ちや、交を讀んでください」

楠山は、札を取つて伏せると、當然のことのやうに、讀み手を促した。

たつたそれだけのことだつたが、美登里にはそれが、何か大きな將來の運命でも暗示されたやうに、心の暗くなるのを禁ぜずにゐられなかつた。

間もなくその勝負が終ると

「ちや、兄さん、ぼつぼつ失禮しませう」

二郎が、點つたばかりの電燈を仰いで、兄を促した。美登里は周章てて

「あら、もうお歸りになるの……何もありませんけれど、御飯でも召上つて、今夜はゆつくり遊んでいただきたいのよ」

「また何ひます。ちよつと、兄貴の友人が遊びに來る約束ですから」

「とんだ失禮いたしました」

一朗も一緒に腰を浮かした。

「あら、詰まんないわ……」

美登里は訴へるやうに二人の顔を見上げたが

「ちや皆さん、ごゆつくり」

林田兄弟は、あつさり引揚げてしまつた。

そのため一座は、却つて寂いで、急に賑かに騷ぎだしたが、中心の美登里が、妙に浮かなくなつて、いつか座敷は夜霧に包まれたやうな得態の知れない寂しさに沈んでしまつた。

そんな譯で、雜談も歌留多も、いつものやうには盛まないで、一座が解けたのは、まだ十時前だつた。

美登里は一同を送り出して、家の前の開いた角の交番まで、二三丁の道を送つて行つたが、「さやうなら」をして歸らうとすると、楠山が

「おや、シングの戲曲集を忘れてきた」

「あとからお送りするわ」

美登里は言つたが

「友人に借りた本で、明日返してやらなければならないんです……お宅まで、お見送りかてら、取りに參りませう」

一同と離れて、美登里と二人引返した、まだ十時だが正月の夜は、しんと靜まつて、風はないが、星火の冴い寂しい街を、濃月を過ぎた想出の男か、東の空から冷たく照らしてゐた。

「美登里さん」

二人きりになると、楠山が、急に改まつた調子で口を切つた。

「今日の林田つて男、おれはあなたと何んな關係なんです」

笑つた美登里が、興深に叫んだ。

「お友達だわ」

「さうかしら……しかし、僕、彼等に對する今日のあなたの態度には、見逃し難いものがあつたと思ひます」

「ちや、さう思つてみれば間違ひないわ—

「二郎に取らせたかつた歌留多を意地に奪ひとられて、今夜の幸福を滅茶々々にされた、美登里の楠山に對する感情が、詰るやうなその言葉に、急に爆發した。

「さう思つて間違ひないのですわ」

「何處に……あたし失禮しますわ」

言ふなり、離れて、足早に歩き出した。

「お待ちなさい」

美登里は答へずに、どんどん先に行つた。

「美登里さん……」

楠山は焦つて呼ぶなり、追つ驅けて行つて袖を摑んだ。

「放して頂戴」

總身に燃えた楠山の眼は、却つて美登里に、嫌惡をそそつた。

「どうなさるの」

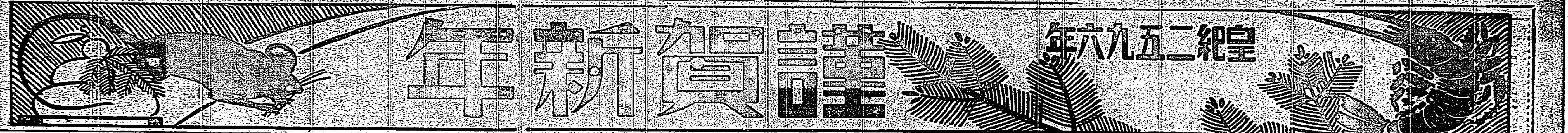
「どうもしません……」

「放さなきや、聲を立てるわよ」

男の外套は高く響いた。と、突然の二階の障子が開いて、黑い男が覗いた。

「あら、林田さん」

見上げた美登里が、取り縋るやうに叫んだ。



皇紀二五九六年

謹賀新年

谷河梅人

鈴木學
臺北市若竹町　電話長四八八番

臺北市榮町三丁目二十二番地
臺北橋會
手島一朗
會員一同

臺北市新起町二ノ一四
レール鐵材金物地金
蔡溪商會
電話八四二六・八四一八番

臺北南人力車營業組合
電話一、四〇二番

華道家元池坊
臺北州聯合橋會
會員一同

臺北市本町二丁目四十番地
株式會社 **守谷商會臺灣支店**
電話一五八二・二五九一番

臺北鐵道株式會社
臺北市新富町五丁目五〇
電話一九八番

臺灣和風會會長
京風流生花家元
茶道久田流師範
蟹江尾州
和風會會員一同
臺北市御成町一ノ五

臺北市壽町三丁目八番地
有限責任 **工材信用購買販賣組合**

臺北市京町一丁目（電話一九五六番）
松尾陶器店
西門市場八角堂（電話二七〇〇番）
松尾陶器店支店
高雄市山下町二丁目（電話二七八〇番）
松尾陶器店高雄支店

臺北印刻業組合
電話一五一二番

臺北市榮町四丁目
履物並に洋雜貨
金出口商店
電話六八五番　小石川庄藏

臺北市新起町二ノ二三
大歲食料品店
電話六〇三番

臺北市京町二丁目
柳藥局
電話一〇四〇番

オリエンタルペイント株式會社
臺北出張所
臺北市太平町一ノ三　電話四五一番

オフセット・石版印刷
ワタヌキ印刷所
臺北市榮町一丁目（新公園前）
電話一八〇五番

公設 **御成町食料品小賣市場**
公商會員一同

平田藤太郎
臺北市川端町

新舘謹次郎

臺北市本町
大曲紙函店
電話一〇〇一番

臺北市大橋町二ノ三五
土木建築機械工事請負業
光智商會
陳海沙
電話三三二〇番

臺北消防組
岡今吉

老松町二丁目一番地
米穀商 **藤村商店**
電話七二二番

味の素（あぢのもと）
本年も不相變
御引立の程願上ます
宮内省御用達　鈴木商店

臺北市本町四ノ一
㊣政岡運送店
政岡幸兵衛
電話[illegible]

臺北州會議員
臺北市會議員
林先在

臺北市壽町一丁目二番地
土地建物管理取扱
池上信託商會
電話七一二番　振替臺灣七五四番

和洋食料品
竹浪商會
臺北市新起町二ノ四六　電話一六七九番

臺北市末廣町一丁目二番地
肥料 穀物 油類 麻袋 雜貨 賣買商
下野盛豐堂
電話五〇九番　振替貳九五〇番

臺北市兒玉町二ノ一二
和洋御菓子
三好堂
電話二〇六一番

德丸貞二

臺北市京町貳丁目
諸紙文房具
活版石版印刷
江里口德市商店
電話一三四七番

臺北醫院眼科御用達
眼鏡商 **久松千吉**
臺北市京町二丁目

臺北市御成町二ノ一九
東洋コンクリート株式會社
出張所　臺北、臺中、嘉義、臺南

臺北市末廣町二ノ一
洗布業 合資會社 **能新舍**
代表者西本……（電話六〇一番）

臺北市京町一ノ二〇
書籍雜誌
次高書店
電話一九二六番

臺北市本町二丁目一番地
德成義和
電話四一三四番

臺北市新起町二丁目
串本金次郎商店
電話一四四番

臺北市新起町二丁目
提灯及材料卸商 雨傘
柏屋商店
電話九四四番　振替貳四六〇番

臺北市北門町七番地
㊋植松材木店
電話八二四・七〇二番

臺北市壽町二丁目二番地
木炭製造卸小賣商
辻本商店
電話二一〇六番

最新式電氣冷凍機應用
臺灣魚食普及會宣傳部
ヒノマル魚店
臺北市本町壹ノ貳（郡通り）
電話貳七八番

臺北市表町二丁目
臺灣コークス株式會社
電話一一三番

臺北刑務所製品
籐製品 木工品 竹製品 臺灣特產品 子供乘物類
中島籐製品商會
臺北市本町二丁目八番地　電話六七五番
店主 中島嶺
中島分店
臺北市西門市場構內仲店六號（電話構內五四番）

牛首印洋傘製造發賣元
洋傘帽子卸商
全日の本洋傘店
臺北市……七ノ二　電話三七九四番
販賣部

サクラ電氣商會
臺北市表町二ノ一〇

李仲義商行
自動車販賣部
高雄市……

臺北市表町二ノ三
神戸組
電話二二五番

臺北土木建築請負業組合

杉村組
杉村庄一

オフセット 石版印刷 寫眞銅版 凸版製作
田淵石版印刷所
臺北市末廣町四ノ一　電話貳七四七番

カセイン塗料製造元
岩城塗料製造株式會社
臺灣出張所
臺北市大和町三丁目八番地　電話參〇八八番

臺北市新富町五丁目壹〇三
天龍木材株式會社臺北支店
飯田清

臺北材木商組合

（いろは順）

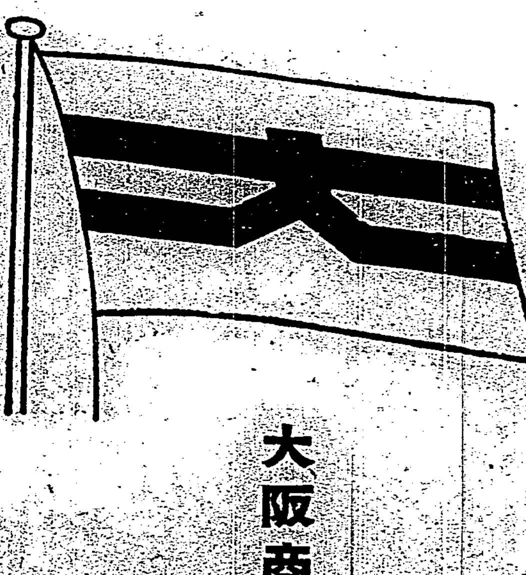
- 濱崎材木店
- 龜田材木店
- 中森材木店
- 植松材木店
- 松岡材木店
- 牧田材木店
- 兒玉材木店
- 惠比壽商會
- 櫻井組材木部
- 天龍木材株式會社臺北支店
- 三浦材木店

H・M・C號自動三輪車發賣元
進輪モーター合資會社
代表社員 王有成
臺北京町（電話一五六二番）

表具材料 建具材料 製造販賣業
神島兼吉
臺北市本町一ノ二四　電話四貳〇番

臺北市兒玉町三丁目
有限責任 **城南信用組合**
電話三九二二番

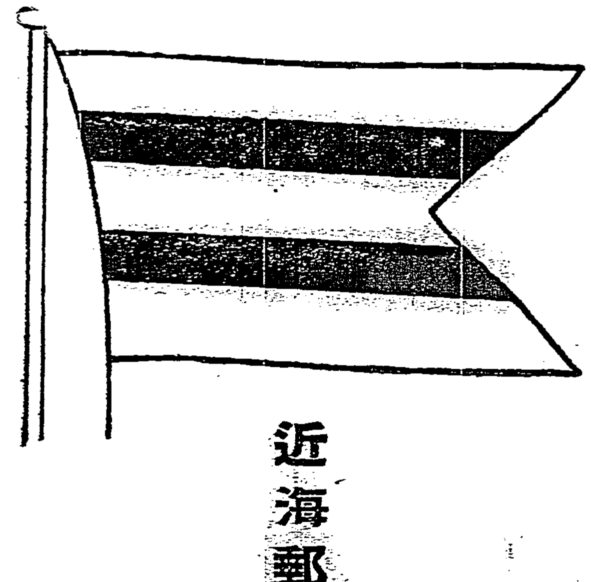
新發賣
ミクキク
皮膚薬
タイピ



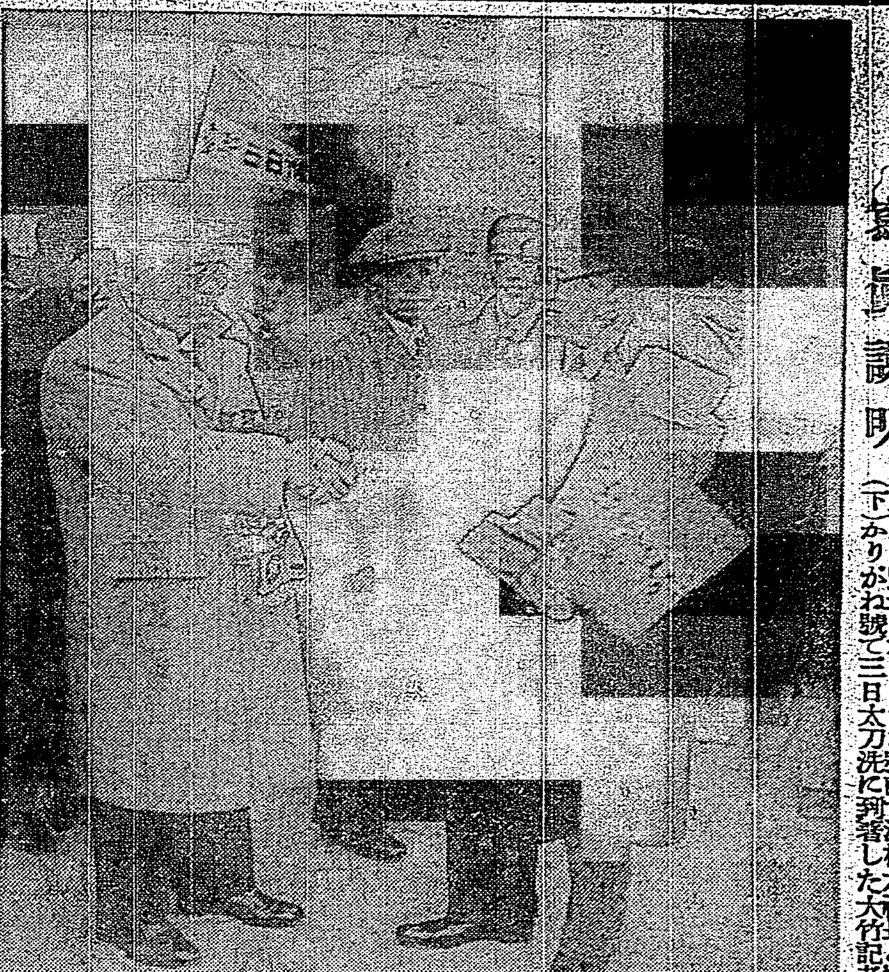
大阪商船株式會社
基隆支店
臺北出張所

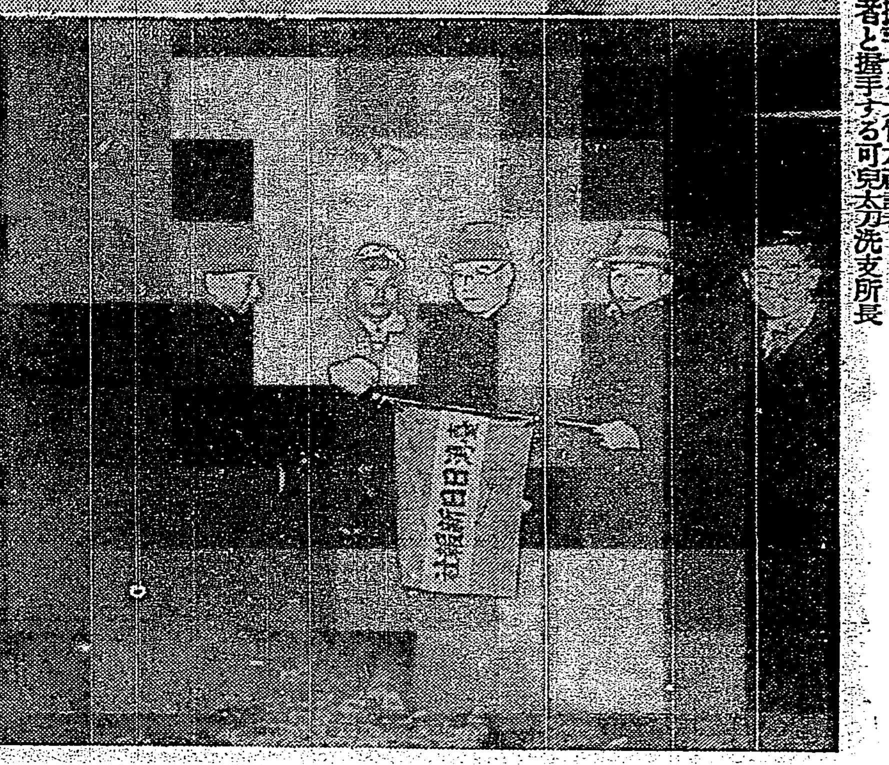
社團法人 **臺灣土木建築協會**
臺北市大和町二丁目八番地（電話八二五番）

臺北市本町四丁目五番地
三菱商事株式會社臺北支店
出張員―（基隆）（臺中）



近海郵船株式會社
基隆支店
臺北出張所





寫眞說明（上）四日歸北したしらさぎ號前で河村本社長と握手する大竹本社記者（下）かりがね號で三日太刀洗に到着した大竹記者と握手する可兒太刀洗支所長

內臺空輸下り第二便
しらさぎ號福岡出發
お客は本社大竹記者と許氏
珍客を送る空から雪の贈物

【福岡四日本社特電話】內臺連絡旅客空輸開始の第二日、四日の下り便しらさぎ號、客は本社の大竹記者と許炎亭氏の二名で臺灣ジャーナリスト輸送デーだ、早曉五時福岡は冬になつて始めての大雪だ、珍客を送る空からの贈物であらうか、そして見る間に屋根も道も眞白になる、空輸後福岡營業所の送迎車で大刀洗へ乘附けた時は雪はやみ雲間に洩れる初陽影さへ見える、往航で

慣れた 兩人はもう飛行機に乘んでかかつて乘り込む態度はまるで汁用自動車にでも乘るやうな氣安さである 出發前の記念撮影や別れの挨拶で手間取り定刻七時はもう十分もオーバーしてゐる、可兒所長が氣を揉んであせるが客は二人切りだからピクともしない、前夜買ひ込んだ社友に食はせる土産を手にした、いや土産の博多人形だとて荷物の積込みがヤヤこしい、それでも七時十三分には可兒所長が出發の合圖をする、プロペラは勢ひよく廻轉する、機體は大雪の雪煙のやうに動き出す、地を離れた、一米、二米、瞬く間に上空に浮かび上つたと見る間に一路南へく飛翔の珍客は臺灣へ向つた、二日に臺北を發つて三日に福岡に着き、四日福岡を出發して日のある中に

臺灣に 歸るのだ、それが海上一千六百十キロ隔たる臺北と福岡の旅だ、夢のやうだがこれが現實の內臺連絡の往復飛行だ、此の日の搭荷は郵便行囊二個手荷物二個で合計二十二キロ、操縱者は加賀、森田、正副操縱士、鈴木機關士、上嶋通信士の練達者である

那覇著
午後一時同所發

【那覇四日發本社至急報】內臺連絡飛行下り便しらさぎ號（加賀操縱）は四日午前七時十三分大刀洗を出發快翔を續け同十一時五十七分那覇安著、午後一時那覇發、同二時五十分（豫定時刻）臺北著の豫定旅客は上りと同じく大竹本社特派員外一名であるが左の如く感想を語る

今日は氣持がよかつた、往航は溫度零度に下り寒かつた

午後四時に臺北著
大竹本社記者無事歸社
臺內往復の空の旅終る

內臺間旅客機上り第一便にて那覇經由二日福岡に到着した大竹本社記者が歸臺のため搭乘せる下り第二便の「しらさぎ號」は四日午前七時福岡を出發、操縱者は加賀總之助氏森田航空士、鈴木機關士、上嶋通信士が同乘し快翔をつづけ同日午後四時無事臺北飛行場に安着ここに內臺內地間定期航空便を利用して往復三千二百粁を足かけ三日間で踏破する壯擧を目出度く完了したが、この日飛行場には河村本社長、大澤主幹、長谷文藝人はじめ社員多數出迎へ今かくと歸着を待つ中同三時五十分觀音山の西方に黑一點現はると見る見る中に[illegible]前に現はれ一直線に降下滑走してピタリとプロペラを止めた、本社旗の打ちふる中、寫眞班君に大竹記者は疲勞の色もなく元氣に下り立ち河村社長はじめ出迎への人々と握手を交し直ちに自動車にて本社に到着した本社では直ちに大竹記者を中心としてこの空前の快擧を祝福するため同記者が福岡より攜行の博多すしに舌鼓を打ちつつ乾杯をなした、福岡日日新聞社長永江眞郷氏及び九州日報社長森田久氏は大竹記者の歸臺飛行に際し河村本社長に對し左の如きメッセージを託した

福日社長のメッセージ

記念すべき臺灣內臺間定期航空の正式開始に際し上り第一便[illegible]かりがね號搭乘の[illegible]文輔君に御託送の御貴翰難有拜見遙かに深甚の敬意を表し候貴臺の如く此の空路の開拓が邦家の交通と國防と又直接な通運のたることは疑なき所に有之此路との上に一新紀元を劃するものに於て大臺灣を引いて邦家の前途を祝福すべきやと存候（後略）

福岡日日新聞社長　永江眞郷

臺灣日日新報社長

河村徹殿

九州日報社長のメッセージ

[illegible]空が內臺產業と文化の進展更に國防に貢獻する所甚大なるは勿論殊に貴地と我九州とは經濟文化に於て最も密接なる關係にあり千六百キロ一日に結ぶ、貴地と我九州の發展に更に大なるものあると信じ申候茲に謹みて衷心より謝意を表し貴社の愈々御隆昌ならん事を奉祈候　敬具

昭和十一年一月三日

九州日報社長　森田久

臺灣日日新報社長

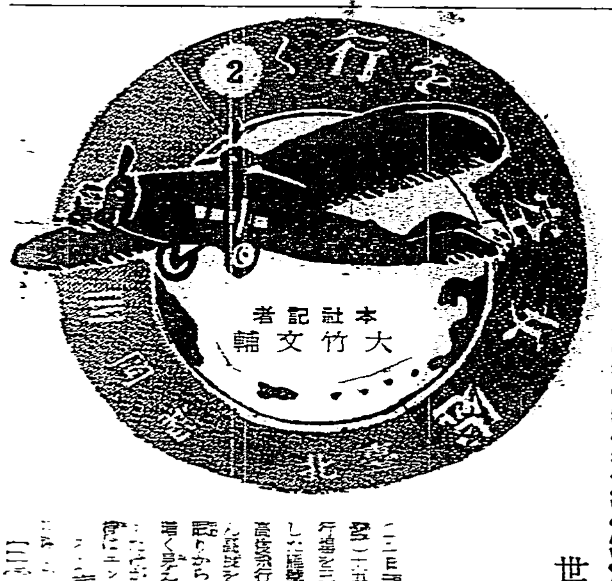
河村徹殿

上り第二便の乘客

內臺旅客機上り二便はやぶさ號は四日午前九時臺北飛行場發[illegible]ましく淡水上空を迂回して那覇に向つた、乘組員は操縱士豐島晃氏齋藤航空士、遠藤機關士、森通信士で乘客は七星郡北投庄ラシヤ商八幡宮一、臺北市本町二ノ二二清水組支店長土居豐吉兩氏であつた、同四日著のしらさぎ號の上り便にも申込者殺到の盛況で空輸會社もその入選に惱まされてゐる模樣である

福岡縣知事や市長を訪問
大竹特派員が

【福岡三日發本社特電】內臺間定期航空上り第一便搭乘の大竹本社特派員は無事太刀洗著陸と同時に日本空輸太刀洗支所長可兒氏の案內にて別室に設けた夜宴場で大森機長以下搭乘員と共に壯途完成の祝杯を擧げた後自動車にて福岡市に赴き博多共進亭ホテルに入り少憩の後畑山福岡縣知事、久世福岡市長、永江福日社長、森田九州日報社長を訪ね河村本社社長よりのメッセージを手交した


2
空を行く
本社記者
大竹文輔

世界一海洋コース
內臺・空の旅
機上で日の出を拜

三日福岡にて大竹特派員 [illegible]二十五米の烈風を衝いて那覇飛行場を三日午前六時五十五分離陸した機體は[illegible]高度飛行をすることにして[illegible]

[illegible]の雲界を突破することは確に科學文明が生んだスポーツの一つであらう。客室內の溫度四十六度、段々內地に近づいて來た爲めである、八時三十分德之島附近を通過したが雲の爲め島影は見えない、九時頃から無線が入つた。[illegible]と霧といふ、室內でペンを走らせてゐても指先が疲れ[illegible]十時一分奄美大島の西方上空を通過した。[illegible]

縮緬皺 の[illegible]

上に出た高度三千二百米、室外の溫度は遂に四十度まで低下したので廊下をスーツケースから出して二足重ねる始末であつた。十時卅分雲海を脫したので高度を五百米に徐々低下しながら下げる、右手に屋久島が雨の中に姿を見せた、海上に虹が美しく我の行手を彩り名留の美觀を添へてゐる達大な眺めであつた。十時五十分薩摩半島の南端から九州の

西海岸 [illegible]

鐵團生氣橫溢して
よく追込んだが惜敗
惜しまれる小松投手の落球
最終回まで觀衆片づをのむ

立教	0	0	3	1	0	0	0	0	1A	5A
鐵（先）	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4

立教大學對鐵團野球第二回戰は四日午後一時二十八分から圓山球場において擧行、先攻は鐵團、審判は飯島（球）田中、河內、坂井の四氏晴天左翼方面から右翼へ流れる風は強い、試合は後半に入つて鐵團打陣に生氣を呼び立教を四對四に追込んで勝敗は最終回迄持越とし て斷ぜられぬといふクロス・ゲームとなつた末九回裏立教有村の內野越く浮上た凡飛球を投手小松が手を出したばかりに落球で生かし寺內の右前安打で立教勝越の得點を得五對四サイレンを聞くに至つた　三回鐵小松投手の制球稍亂れ北原に死球を與へた後寺內の投手右へ轉んだ寢打は當然投手として處理せねばならぬものであつたがフキルディングに缺しき缺陷を持つ小松はこれを見送つたため二壘手玉井の一壘惡投を誘致、次打者杉田に死球で滿壘、次の高野の平凡極まる投手眞正面にコロくと轉つた投球を小松ハンブルしてオール・セーフ志摩の右越二壘打で二點を獻上してしまつた、これは當然ダブル・プレーが行はるべき凡ゆる好條件にあつたに拘はらず此の危機を脫れ得なかつた所に直接的敗因があつた五回迄立教西郷投手の外角をクロスに切る速球に押されてゐた鐵團打陣は六回に入つて立教投手西郷の制球稍亂れ水田、日笠に四球を與ふるに及び玉井三山は好球をすかさず打つて安打をつづけ堂々二點を稱び八回又日笠、三山の快打內山の四球で滿壘のとき渡邊右前へ痛打して日笠三山の生還といふ鬼醒的試合となつたが六回四球に出た永田が不覺にも離壘して打者日笠にサインを送つてゐるとき投手にはかられて牽制球に憤死せるは愼むべきであつた、鐵團投手小松はよく立教打者の氣を拔いて凡退せしめて行つた投球は善投といふべきであつたがフイルディングの缺陷が遂に重大なる結果を招來してしまつたことは將來考慮せねばならないことだ、投手と雖も內野陣を固むる一要素であつて見れば投げるだけではない、さらに全軍に溌溂新の氣と不屈不撓の精神を確立せねばならない

試合經過

第一回（鐵）日笠四球に出たが玉井二一後バントを失して退き三山捕邪飛內山二匍（立教）寺內右飛杉田右飛高野遊飛

第二回（鐵）渡邊三振木村三振小松三匍（立教）志摩二匍長浦四球に出て捕逸に二進し成田四球に續いたが村田二飛西郷二飛

第三回（鐵）川島二匍永田一邪飛の後日笠立教投手頭上をワンバンドで拔く安打を放つて出でたが玉井の遊匍で二壘に封殺さる（立教）北原死球に出で寺內の投手右のバントが內野安打となるを二壘手拾つて一壘に惡投し走者二三壘となり杉田死球で滿壘高野の投匍失で北原還り志摩右越二壘打で寺內杉田還り長浦一邪飛成田二飛

第四回（鐵）三山右飛內山二匍渡邊三振（立教）村田右飛西郷四球に出で北原の二匍を二壘手壘に入つた遊擊手に暴投して走者三二壘となり杉田の遊匍で內野安打で西郷還り北原三壘に進んだが杉田二盜に死す

第五回（鐵）木村に代るＰＨ篠原二匍小松三匍川島二匍（立教）（鐵木村退き篠原捕手）高野遊越安打、志摩遊飛の後長浦四球に出たが成田投匍して投一二一で高野成田併殺さる

第六回（鐵）永田四球に出たが投手牽制球に二匍につり出され投一一遊でタッチ・アウト日笠四球に出で玉井中前安打で日笠生還三山の二匍に玉井三進し內山の二匍に三山二封されたが玉井登り渡邊の遊匍で內山二封（立教）村田右飛西郷二匍北原三邪飛

第七回（鐵）篠原三振小松三振川島投匍（立教）寺內四球に出で杉田三振の後高野とのヒット・エンドランは一邪飛となり寺內一壘に併殺

第八回（鐵）永田二匍で一死後日笠三遊間を拔く安打を放つて出で玉井中飛の後三山左前安打で走者一二壘となり內山四球で二死滿壘となつた時渡邊第一球を右前に安打して日笠三山生還內山三進（西郷退き有村投手となる）篠原投匍に終つたが二點を返して同點となる（立教）志摩四球を選んで出でたが長浦右飛の後成田の投匍で二封され村田に代つてＰＲ高田）村田に代るＰＨ田部の第三球目に高田二盜したが田部捕飛

第九回（鐵）立教成田、村田退き町田捕手、田部二壘）小松一飛の後川島遊匍失に出て永田四球で走者一二壘となり日笠右邪飛で二死となるとき川島二壘に進んだが玉井投匍で入らず（立教）有村投飛失に生き北原に代るＰＨ浦田投手一壘間バントで進み寺內右中間に安打して有村長驅生還してゲーム・セット試合終了　午後三時十七分所要時間　一時間四十八分

【鐵】		打	安	犧	盜	振	球	殘	失
6	日笠	3	2	0	0	0	2	2	0
4	玉井	5	1	0	0	1	0	0	2
5	三山	4	2	0	0	0	0	0	0
9	內山	3	0	0	0	0	1	1	0
3	渡邊	4	1	0	0	2	0	2	0
2	木村	1	0	0	0	1	0	0	0
2	篠原	3	0	0	0	1	0	0	0
1	小松	4	0	0	0	1	0	0	2
7	川島	4	0	0	0	0	0	1	0
8	永田	2	0	0	0	0	2	1	0
	計	33	6	0	0	6	5	7	4

【立敎】		打	安	犧	盜	振	球	殘	失
8	寺內	4	2	0	0	0	1	1	0
5	杉田	3	1	0	0	1	1	0	0
3	高野	4	1	0	0	0	0	1	0
7	志摩	3	1	0	0	0	1	0	0
9	長浦	2	0	0	0	0	2	2	0
2	成田	3	0	0	0	0	1	1	0
PR	高田	0	0	0	1	0	0	1	0
2	町田	0	0	0	0	0	0	0	0
4	村田	3	0	0	0	0	0	0	0
4	田部	1	0	0	0	0	0	0	0
1	西郷	2	0	0	0	0	1	0	0
1	有村	1	0	0	0	0	0	0	0
6	北原	2	0	0	0	0	1	1	1
PH	浦田	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	28	5	1	1	1	8	7	1

二壘打　志摩（立）

暴球　木村（鐵）

併殺　小松―三山―渡邊（鐵）渡邊―玉井（鐵）

ソ聯の曳船六隻が
安平沖合に投錨
臺南署員が嚴重に臨檢
四日早朝何れかへ向ふ

【臺南電話】三日夕刻臺南安平の沖合に約六百噸の外國船六隻が錨を降し附近の人々を驚かした、急報したので臺南署から臺灣高等主任外係員がランチに便乘激浪と鬪ひ同船に赴き臨檢取調べたが右はソ聯邦の船で乘組員は全部で六十名で黑海のオデッサから釜山に向ふ途中薪炭の缺乏と折柄の氣節風に阻まれやむなく同所沖合に假泊せるものと判つて居り他に不審の點を認めぬが嚴重監視を續けたが四日午前五時同船は高雄に向け錨をあげた、同署では直ちに馬公、基隆、高雄各港に通報手配した

高雄方面には船影を認めず

【高雄電話】ソビエット聯邦の貨物船六隻がマニラを出港ウラジオストックに向つて航行中臺灣近海にて燃料に缺乏を來し三日夜漸く安平沖に航行したがバンカーを取ることが出來ず直に引返し高雄に向つた旨、高雄港務關係に情報あつたが四日午後三時半に至るも船影を見せず海が時化てゐるだけに安否を氣遣はれてゐる

各地轉戰のため
立大野球團が南下
けふ臺南州團と對戰

鐵團と二回、ＣＢ團、嘉義團と各一回宛の試合を豫定通り終了した立教大學野球團は中南部各地轉戰の途に上ることとなり長浦田主將以下一行二十四名は案內の本社湯川社員、岩田記者と共に四日午後十時三十分臺北驛發下り夜行に乘車、多數同窓生本社員體協關係者などに見送られて先づ臺南に向つた、中南部における試合日程は左の通りである

五日　對臺南州團（臺南）
七日　對全高雄團（高雄）
九日　對全嘉義團（嘉義）
十日　對全臺中團（臺中）
十一日　對ＣＢ第二回戰
十二日　對鐵團第二回戰

爆竹に點火し
ポストに投入

【新竹電話】正月匆々三日午後五時頃新竹市黑金町五の第十五號郵便ポスト附近で遊んでゐた三名の內地人が爆竹に火を點し同ポストに投げ込んだのを新竹署藤本刑事が發見直に郵便局に通知し局員と共に函を開けんとしたが中で郵便物が燃え出し開けることが出來ず餘儀なくポストを打壞し燃え殘りの郵便物を引出した犯人は新竹驛前[illegible]直裕（一三）同十區竹丸（一七）同加治大次郎（一七）と判明目下嚴重取調べ中

臺大豫專ラグビー惜敗
對南滿工專に

【大阪三日發】甲子園における全國高專ラグビー臺大豫專對南滿工專の試合は三日午後一時五十分臺大豫專先蹴九對八で南滿勝つ

南滿工專　九 三―八 六―一〇 八　臺大豫專

萬なかだち

求職一件一回　金貳拾錢
其他一件一回　金五拾錢
[illegible]

女中入用　內地人（但し二十才前後）市內大安十二條通り　林二郎　電話四二一〇番

電機工手急募集　履歷書持參五日午前本人來談　八甲町練習所前電業社

世界最新最高最良を誇る
オイローパ發聲機

ラヴ・パレードの愉快さ！
メリイ・ウイドウの陽氣さ！
とを併せもちしかもこれを凌ぐ
巨匠の「浮かれ姫君」の華やかさ
浮かれ姫君
ジヤネット・マクドナルド主演
巨匠W・S・ヴアンダイク監督
唄ひまくるマクドナルドの美しさとくひつき
[illegible]

新世界館
●晝夜三回上映●
●本興行に限り●
●御優待券御斷申升●

シーコウヤ
ジーン・パーカー主演
C・フランクリン監督
[illegible]

明治一代女
開館新春第二彈　五日ヨリ九日マデ　晝夜三回連續興行
日活特作[illegible]入江たか子主演
陽氣な連中
突かけ侍
日活時代劇オール・トーキー　尾上菊太郎主演
ウエス・ターン發聲
電話三二九番
大世界館
料金　三五・六〇・一〇〇

貸切バスを御利用下さい
北投　片道四〇〇　往復七〇〇
草山　片道七〇〇　往復一三〇〇
二十名樣乘車が出來ます
巴自動車商會
電話八四五番・八四六番

進春大入御禮
◎二の替り晝夜三回興行◎
大學の赤ん坊
松竹蒲田オールサウンド版
阿部正三郎　水島光代　主演
お孃お吉
第一映畫社オールトーキー
山田五十鈴主演の妙技
松竹映畫封切場
タイゲキ

バブーナ
FOX
飛行機上より見た世界最初の探檢映畫フォックス大作
誰方にもよく解る日本語解說版
マルティン・ジョンソン夫妻撮影
パラマウント傑作・桃色猟奇の怪奇篇
銀鼠流線型
名花ガートルード・マイケル主演のオールトーキー
戀の鋪道
伏見信子主演のオールトーキー
伊奈精一監督・大衆特作
五日封切（九日まで）
午前十時より三回興行
料金　二〇・六〇・一〇〇
國際館

國粹映畫最高至上
オールトーキー
「君が代」
謹て上映仕候
◇兩館にて再映
芳乃館
第二芳乃館

急行列車
高田稔主演
オールトーキー
山路ふみ子　立松晃　小宮一晃　清水將夫　共演

股旅新八景
ミツ角オールトーキー
片岡千惠藏主演
大倉千代子助演
殺平
連日大入滿員厚く御禮申上候
嵐寛壽郎[illegible]孟寅稀有の傑作映畫
新春二の替り
本日より大公開
豪華迫力陣
芳乃館

活劇
荒木又右衛門
オールトーキー
伏見信子　河津清三郎主演
オールサウンド版
女人祭
◎二の替り本日公開
南門
第二芳乃館

外蒙古赤化勢力
蘇俄東洋赤化政策
在接觸地得完全阻止
爲千九百卅六年春一大收穫

北平三日電。滿洲國接壤地帶。東部察哈爾六縣。卓特巴紮。李守信兩氏親滿政權確立。對華北目前最重要問題。如赤化共同防衞。極有重大意義。即爲防共前哨地。可以防共自新疆外蒙。且侵華北及滿洲之蘇俄赤化勢力。其與宋哲元氏冀察政務委員會。最近將作防共軍事協定。乃先時確立南蒙自治政權。而溫王及德王等不日亦將獨立西部蒙古。防共第一線基礎。可謂已固。外蒙赤化勢力。蘇俄東洋赤化政策。在内外蒙古接觸地帶。已得完全阻止。是爲千九百三十六年劈頭之一大收穫。騎牆主義之宋哲元政權。亦加一大鞭撻。防共軍事協定。急速實現。大可期待云。

中國幣制改革通貨不安
漢口邦商議改圓建
已得漢口銀行諒解

漢口四日電。幣制改革斷行。及世界的銀異變。中國通貨不安。漸次増大。上海邦人商店。因施行圓建制。當地人士。有鑑於此。漢口商業組合。爲其發起。相與協議。與漢口銀行。諒解已成。一月一日起。當地邦商。一齊倣法實施。其法如左。

一、從來販項。全部改爲圓建。

一、圓弗換算。採用漢口銀行中間行情。

察哈爾東北部政權
經蒙古保安隊接收
我軍却宋氏五日開議主張

北平三日電。察哈爾省東北部（滿洲國接壤地）政權。蒙古保安隊。疾風迅雷的接收。親滿政權。已以樹立。宋哲元一派。極爲狼狽。且謀善後策。聞宋五日在張北。即察哈爾省方與日方代表關東軍参謀田中中佐。開現地會議。據確實消息。華方保安隊撤退之際。期與蒙古保安隊間。圓滿接收。孫殿英三張之十一日。關係當局既在北協義。李守信部隊。於縣氏歡迎裡。入張北城。已無必要。宋哲元氏。五日主張開之。日方以李軍更代。爲既定事業。今更無可如何。將却之云。

英米兩使同時南下
且會將張兩當路
疑爲華北自治有所表示

上海三日電。駐華英米兩大使。近擬自北平赴南京與蔣行政院長。並張外交部長會見。其同時南下。與國民政府首腦會見之事關華北自治。對國民政府或有所表示。各方面方注目云。

根本大佐
既視察西南
且會大使等

上海三日電。根本大佐。視察西南既終。三日午前十時。乘入港靖國丸到滬正午於陸軍武官官邸。訪磯谷少將。報告西南情勢並與種々懇談。又今明日中。且與有吉大使。佐藤海軍武官會見。而後經南京。赴天津云。

米國戰時中立法案
提出下院內容有五

華府三日電。米國下院。三日開會。提出恒久的戰時中立法案。大體內容如左。

一、直接交戰國。有關係武器。輸出交戰國。如前爲強制法禁止。

一、棉花、石油等。特殊軍需品。對交戰國。輸出制限。其制限港。並制限方法。委大統領。任意採用。

一、食料品輸出禁止不行

一、交戰國民。接濟通常貿易程度。現款或信借而外。其他一律禁止。

一、交戰國不問時期遲速標代交戰國。平等處理但米國議會。決定相反之時。不在此限。

正米市場
初市開式
終立會買賣

臺灣正米市場。去四日上午十時半。在市場立會場舉初立會式。組合員。店員。牙仲百餘名齊集。府州市關係官員列席。具山常務述昨年中米界經過。及今年希望。以爲敍禮。員室州勸業課長訓示。來賓農林省米穀出張所長祝辭。十一時式畢。即開市買賣。正午終了。時値米價高昂。農民業戶。多往市場参觀初市實況云。

立教軍再戰勝專賣
島都三強皆非其敵
四日以四對五鐵團惜敗
其夜南下各地比試日程

由本社招聘之立教大學野球團。對臺北鐵團第一回戰。去二日午後。開於圓山球場。由立教先攻。結局以十對一。歸立教大勝其次則於二日午後。以四對二。戰勝CB。第三日仍在該運動場。與專賣團對仗。立教先攻。立教又復得勝。於是島都三強野球團。皆非其敵四日鐵團。行雪辱戰。鐵團先攻。然終以四對五惜敗。而CB及專賣團之第二回雪辱戰。則訂來十一。及十二兩日。立教團。則搭四日午後十時半。臺北驛發南下列車。開往臺南。翌五日午後二時起。與臺南州團比試。六日午前中在臺南市見學後。搭午後二時三十五分發南下列車開往高雄。投宿吾妻旅館七日午後二時起。與全高雄團比試。八日午前中在高雄市見學。午後零時四十分。赴嘉義。投宿青柳旅館。九日午後二時起。與全嘉義團比試。十日午前九時半發嘉義驛。赴臺中。午後二時起。與全臺中團對仗。午後五時四十二分。發臺中。於是夜十時五十七分。歸抵臺北。其離臺期日。則爲來十三日之蓬萊丸云。

士林街讀者
開運福籤

七星郡士林街。本報取次店。元月二日上午八時起。舉本報讀者開運福籤引換至下午四時告畢。一等至四等當籤者如下。一崎濱秀厚氏。士林街役場。何新丁。李玉聰。保元堂藥店。原田。郭石居。陳阿本。雙興炭棧。施炳東諸氏所得。

彰市消防出初

彰化市消防組。十一年度初出式。訂一月七日午前九時。在彰化公園舉行。當日州有務部長及市郡各官紳多數臨席。屆時定呈盛況云。

臺北西區
內臺人交禮

臺北市西區內臺人百餘名訂來七日午後六時。欲在龍山寺內。開新年宴會。現由總代三卷俊夫。蔡彬淮二氏。東邀知事。市尹南署長。及該地公學校長等與會云。

圓糯米大暴騰
視大納會起六十錢
新春初市米界好況

新春臺北米況。承客臘掉尾好況。休會中市況頗穩健。先限圓糯。會唱至十三圓三十錢臺。後被利轉賣者續出。再落一二十錢。四日內臺初市。大阪期米先限寄付三十一圓六十六錢。大引六十四錢。無甚變動。而圓糯人氣仍強。一月五日限納會。一月二十日中限十三圓六錢。高値七錢。低値二錢。二月五日先限高値十三圓二十三錢。低値十三圓十五錢各限比客臘二十七日大納會。加貴六十錢。圓糯穀千斤九十四五圓。農家未賣者向有八十萬袋內外。蓬萊米雖無變動。仍強持合。農村景氣絕好云。

大溪街
新春景象

大溪郡大溪街元旦。各戶高揭國旗。樹門松。頗呈新春氣象。午前八時起。各官衙學校。順次舉式。竝參拜大溪神社。然後於公會堂開名刺交禮會。參會者二百餘名。一同列席敬禮。合唱國歌。繼則吉田街長述祝。以是開宴。祿酒紅柑。至同十二時。由鹿田郡守舉杯。三呼天皇陛下萬歲。一堂和氣藹々而散。

臺南市　鄭啓東氏畫

鼠　朴子街　周雪峰氏畫

大同促進支部
運動再設
萬華屠場

大同促進會萬華第一支部鑒於萬華元有屠獸場。因四五年前撤廢。歸於大龍峒町之臺北市屠畜場。自萬華屠戶。須運往大龍峒屠殺。然後運回萬華。跋涉二三邦里。頗覺不便。且時間遲延。萬華人士。不利莫大。促進會役員周合源氏等。因向州市勸業當局陳情。懇求設立屠獸場於萬華。當局亦同感。但經費浩繁。莫能籌措。去二日午後五時。該支部開總會。席上周合源氏。會報告該件等。今後將與同地人士聯絡。繼續運動是日支部會員二百七十名中。出席者百餘名。審議議事。有經國聯盟瓜生大將。小笠原長生子諸氏祝電。來賓黃聯發氏其他祝辭云。

米穀代行會社
大橫領案
內容續聞

既報臺灣米穀代行會社々金二十餘萬元。被書記謝根樹橫領流通事件。其用途主爲投機賭米失敗。若然則株主之市場取引員。何以不起疑惧。而重役等之不聞不見。三昧過於信用。豈不能無咎也。據聞犯人於去年十二月十七日再賣出糯米三百台。怪底不因起落慣。而醸出巨金之消耗。然而犯人法極巧妙。彼常宣傳爲某富翁託他買賣者。而且由蔡某支取現金。寄存於某組合。更由某組合領出小切手。持往請算。以證明爲某富翁託他者。故人遂不疑其出於行詐。彼又嘗造驛前大和運送店之倉庫證其質全島何嘗有此運送店而人亦不之疑。何也。風傳彼所僞刻之印鑑。凡百五十餘個。又於逃走當夜與其肉徒酒朋。凡五人。豪飲於江山樓。以五人而喚妓九人。且開天宮。賞走掉者。不爲燃放爆竹。走掉者不得已爲牌取爆竹燃放一場。亦云奢矣。爲是同飲者某某被拘。供出由會社流通萬二千元總而言之。爲是事件發生此後不論會社或個人商店對於用人。須時常監視其有無放縱豪奢生活。及行投機事業。人心叵測。殊如年少之人。血氣未定。若一味信用。難免再演出馬謖失街亭之失敗云。

椿　嘉義　黃水文氏畫

臺北消防組出初式
式後向市內宣傳防火

臺北消防組出初式。去四日午前七時。在市內末廣町末廣小學校運動場。盛大舉行。是日六時。即盛歟。鳴爲號。先門集合。來賓爲石垣警務局長。野口州知事。石川州警務部長。瀧田。上上南北兩警察署長外官民多數列席。先揭揚國旗。遙拜宮城。然後由國組長。捧讀令旨及[illegible]會員。[illegible]由警務部長[illegible]行御筒及乘梯之操演。次假裝消防。非常勇敢。右畢。有警務部長之講評及報告。次行消防組員勤續表彰。終則野口知事訓示及來賓祝詞。國組長答詞酒殺料二交與等。遂共唱大日本消防歌。隨而國旗八時過散。[illegible]後更分乘諸消防自動車。巡邏市內。宣傳防[illegible]市內諸大[illegible]

內臺航空第一回上便
三日發那覇赴太刀洗
天氣險惡奮勇出發

本社大竹特派員。去三日致電本社。稱內臺定期航空第一上便。那覇太刀洗間。於三日翔破。是日有低氣壓。即拉沖島及父島附近五十四耗。新潟縣八丈島及佐渡附近五十六耗共四處發生。西南諸島一帶。受氣壓影響。海上氣象。相當險惡。而那覇地方。因前夜之強風。至上午六時。尚繼續北吹。風速十五米。天候如何。頗爲懸念。氏于未明。驅駛自動車。到那覇飛行場。準上午六時五十五分。準備完妥。更就天候。愼重協議後。決定斷行。乃乘飛機。直沖雲端。向東方而進。循沖繩列島。至下午一時半。安抵太刀洗。此間翔破百粁云。

知事市長
各托聲明書

沖繩縣知事。及那覇市長于內臺間航空旅客輸送開始。各有聲明書。寄與本社。其辭概略如左。

▲所待望之內臺航空路。于玆完成。且卜元旦佳辰開始輸送。際此欲托初便對臺灣日日新報社。聊表敬意。並由貴報。對臺灣諸同胞致禮。夫臺灣與沖繩。僅隔一衣帶水。地理的及經濟的。皆有密接關係。且者吾航一路開設。益加濃厚。諒來上海兩交通發展。並得完全設備。經濟的關係。亦得增進。余際此機會。欲使兩地。益爲接觸。[illegible]相通。共存共榮。[illegible]

昭和十一年元旦

那覇市長　金城紀光

臺灣日々新報社御中

▲內臺航空路。既已開始由海空兩路。而謀日本南方發展。因內地文化。得由沖繩。迅速傳至臺灣。且此航空路之開設。得紹介沖繩于一般。乃余之所欣快者。顧從來沖繩。依大阪商船定期船。欲到鹿兒島。須航海三天。至神戶。基隆。各須四日間。而依航空路。僅費半日。便得到九州臺灣。其裨益于本縣文化開發。痛感甚大。且臺灣及沖繩。共爲國防第一線。將來益須守望相助。以貢獻雙方之榮萃也。

藏重沖繩縣知事

大竹本社記者
發太刀洗歸臺
四日午後四時安抵

既如別報。本社航空擔當記者大竹文輔氏。去三日早朝。乘雁號飛行機。自那覇一氣飛到福岡。即日午後三時半。自福岡以無線電話。呼大澤主筆。告以午後零時三十三分。安抵太刀洗。但出那覇之時天氣不順。而雲亦濃。飛機飛過雲上。即三千米高度。遂得安到福岡。時該地晝天。頗見料峭。四日且乘太刀洗發下二番機歸臺。是爲內渡飛行後之頭報。逮至四日午前七時。發太刀洗。同正午到那覇午後又望臺灣而發。同四時安抵松山飛行場。有本社幹部同僚。及其家族友人多往歡迎。順歸本社。共舉祝杯。呼萬歲。同慶內臺飛行。本社參加之成功畢竟往返十時十五分。歸費九時餘。計行三千二百粁可謂壯矣。

人夫作業中
感電死亡

新豐郡永寧庄灣裡三二八七葉善有。年二十五。去一日午後五時。在嘉義郡中埔庄下六字公館赤蘭溪架橋工事場作業中。因被臺灣電力高壓線感電。墜落重態。急昇入嘉義市榮町同生醫院施救。至同七時死亡云。

吞沒雜貨細民工資
不顧八十餘名汗血
被害者慘無可度歲

曾文溪治水工事。七十二分工務場。某組所屬下請負者。新化郡安順庄海寮人方琳。年三十五。日前突然晦其踪跡。調查後知係詐欺。七十二分雜貨商水保貨物價金四百餘圓並當地細民八十餘名之工資六百餘圓。郡警察課聞報。四方多文訪緝。諒不久當入法網。最可憐者。被害細民。皆棄其汗血工資。以度此年關者。莫不叫苦連天。查其原因。方琳自數年前。即隸屬於請負業某組爲下請負。與保坂同組監督。稍有得利便與保坂花天酒地。從二事移於七十二分。[illegible]利益末。不堪如是揮霍。然恐被其見惡。故盡力巴結。迨至不可收拾。聞當時各被害者。以渠浪費無度。慮其後來。皆不與接。而保坂監督。出言爲擔承。這回被欺。皆向當地派出所。懇其代對保坂監督追求云。

大甲野球戰

大甲郡警察課應援課諸職員所組織野球團。國士碧々。意氣揚々。爲新春娛樂。五日在大甲街大甲野球場。與大甲分室諸職員及其他團體試合。爭奪優勝。倘遇降雨。決無明延期云。

新年雜詠　黃開元

歲月蹉跎數十年。貧窮富貴總由天。貧而無諂心常泰。窮且忘憂志益堅。富不可求從所好。貴能自守免招愆。春光滿眼隨時樂恰勝蓬萊不老仙。

○　黃一峰

貴同斗健一陽生。爆竹聲喧滿帝城。一事雖難酬夙願。三杯聊共慶新正。回頭馬齒年々長。過眼駒光歲々更。且喜兒曹能解慰屠蘇勸飲樂昇平。

○　大鹽面江

歲新天地向陽和。屈指三冬殆半過。只恨詩才如退鷁。不知世事似奔波。竹籬山色依稀在。梅漏春光次第多。處此清閑貧亦得誰家樓閣正年歌。

一冬不雪到新正。幸是和風有快晴。翠穀微搖池水淺。黃鸝飛上柳條輕。即看殊域民安堵。欲以謳歌答聖明。已侑嘉觴酬雅興更裁蕪句祝承平。

○　林江濤

春回爆竹響喧天。攬鏡二毛覺漸延。許子繁無嫌碌々。祖生且待舞翩々。雪含梅影斜臨背。煙卷椒香落燕邊。瓢飲蝸廬安我素一棋敲對百芳妍。

○　李學樵

臺澎改隸卅秋冬。丙子春回淑氣濃。淡水恩波流浩々。屯山春色翠重々。賀年書札欣存問。投刺親朋喜過從。晨起辛盤陳五味嘗先敬祖與尊宗。

會事

▲鉅紳革正俱樂部。訂本日午後二時。在蝴蝶珈琲店。開新年宴會。欲出席者須向總務黃聯發氏聲明。

人事

▲本社漢文部員謝峻君。本日乘[illegible]東丸渡阪。按三星期。調查該地商界及一般狀況。

商況（四日）

米況

正米市況前場

▲二期蓬萊米

當限	中限	先限
一〇、五〇	一〇、五〇	一〇、八四
四八	五一	八〇
四六	五五	八一
一七車	五八	八〇
	五九	七九
	五八	六九車
	五七	
	二四車	

▲二期丸糯米

當限	中限	先限
不申	一三、〇六	一三、一五
	〇七	一六
	〇六	一七
	〇五	一八
	〇四	一七
	〇三	一八
	〇二	一九
	〇三	二〇
	〇三	二一
	〇四	二二
	〇三	二三
	二六七車	二二
		二一
		二八車

期米

大阪期米初相場

當	中	先
三一、一九	三一、二六	三一、六六
一六	二九	六五
一六	二五	六四
一二	二八	六一
一四	二九	六一
一四	二三	六一
一六	二三	六二
一八	三〇	六三
一八	二六	六四
一八	二五	六四

東京期米初相場

當	中	先
三一、二五	三一、三四	三一、五九

株式

大阪短期初相場

[illegible]

大阪長期初相場

[illegible]

神戶期米初相場

[illegible]

東京短期初相場

[illegible]

東京長期初相場

[illegible]

公債

東京國債初相場

[illegible]

東京銀行株

[illegible]

紐育株式

[illegible]

爲替

外國銀塊相場

[illegible]

臺銀建値

[illegible]

穀肥

シカゴ小麥

[illegible]

神戶豆粕

[illegible]

砂糖

玖馬

[illegible]

爪哇

[illegible]

大阪現物

[illegible]

大阪清算

[illegible]

銀塊

[illegible]

絲況

大阪絲

[illegible]

大阪棉花

[illegible]

大阪人絹

[illegible]

專門花柳病科　周磐石
台北市太平町二丁目（大稻埕入口）
電話二五三二